

2023年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	エステティック基礎理論	担当 教 官 名	伊藤真央
対象学生	第1学年	履修学期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	30回(15週)
授業のキーワード	エステティックの歴史・皮膚・化粧品・生理学・衛生		
授業の概要 及び到達目標	<p>エステティックの本質、肌や身体の仕組み、トラブルの原因、美しく健康的に保つために必要な生活習慣・お手入れ方法・食生活など、エステティックに関する基礎的な知識を身に付ける。また、その知識を今後活かせるよう、認定フェイシャルエステティシャン資格を取得し、しっかりと自分のものにしてお客様の状態を正しく判断して最適なアドバイスやお手入れ方法の選択をできるようになる。</p>		
講義計画・内容	<p>1回目:【C.1 エステティックとは】【C.11 エステティックの基礎知識】【C.13 フェイシャルの基礎知識】                  2回目:【C.13 フェイシャルの基礎知識】 日々のスキンケアについて                  3回目:【C.2ホメオスタシスとストレス】                  4回目:【C.3 身体のしくみと働き①】 毛穴ケア体験                  5回目:【C.3 身体のしくみと働き①】                  6回目:【C.5 皮膚のしくみと働き①】                  7回目:【C.5 皮膚のしくみと働き①】                  8回目:【皮膚の構造】 化粧品・美顔器体験                  9回目:【C.6 皮膚のしくみと働き②】                  10回目:【C.6 皮膚のしくみと働き②】 パック体験                  11回目:【C.7 エステティックカウンセリングとは】                  12回目:【C.8 化粧品の種類と働き】                  13回目:【C.9 栄養の知識】【C.10 エステティックにおける衛生と消毒】                  14回目:資格試験対策・前期試験                  15回目:前期試験振り返り フットケア</p>		
準備学習	次回授業を行う範囲を一通り読んでおく。		
教科書・教材等	日本エステティック協会 「理論と技術」		
授業の形式 教育機器の活用	講義・関係する単元ではエステティック機器・化粧品使用		
成績評価の方法	定期試験素点70%・平常点20%・出席率10%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>エステ・メイク・ネイル、どの道に進むにしても皮膚についての基礎的な知識や、人の身体に関する知識は必要になってきます。この授業では認定フェイシャルエステティシャン試験合格も目標としていますが、一番は美容の基礎となる皮膚や身体のことにより興味を持ち、正しく身に付けて、お客様にアドバイスするための知識の引き出しを増やしてもらいたいと考えています。正しい美容と健康の知識を身に付け、お客様のサポートがしっかりとでき、お客様も自分自身もきちんとケアできる人を目指してもらえたらと思います。</p>		

2023年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	ネイル基礎理論・ネイル基礎演習	担 当 教 官 名	和田可奈子・柏原沙織 長谷川咲希
対象学生	第1学年	履修学期	前期
必修・選択の別	必須	授業回数	45回(15週)
授業のキーワード	ネイル検定3級 ネイルアート 爪の基礎的知識		
授業の概要 及び到達目標	<p>ネイルに関する用具溶剤の名称・用途を理解し、正しく使用することが出来る。                  ネイル施術に必要な爪の構造や病気の知識を理解する。                  7月に開催される、ネイリスト技能検定試験3級(JNEC3級)の合格を目指す。                  様々なアート技法を学び、作品制作を目指す。</p>		
講義計画・内容	<p>①ネイル道具確認・テーブルセッティング                  ②爪のスタイリング / ウッドスティック削り・ファイリング・ネイルアート①                  ③爪の構造と働き、皮膚科学/手指消毒・カラーリング①・ネイルアート②                  ④ネイルの歴史、技術体系 / カラーリング②・ネイルアート③                  ⑤爪の病気/ネイルケア①・ネイルアート④                  ⑥消毒法/ケア②・ネイルアート⑤                  ⑦お花のアート・ネイルアート⑥                  ⑧検定の手順説明・ネイルアート⑦                  ⑨検定の要項説明・ネイルアート⑧                  ⑩タイムトライアル・ネイルアート⑨                  ⑪ネイリスト技能検定試験3級 通し練習                  ⑫ネイリスト技能検定試験3級 模擬試験                  ⑬ネイリスト技能検定試験3級 試験準備                  ⑭ネイリスト技能検定試験3級                  ⑮ネイルアート⑩</p>		
準備学習	授業の復習・練習を行い、技術の上達を目指してください。		
教科書・教材等	JNAテクニカルシステム ベーシック 配布資料		
授業の形式 教育機器の活用	講義演習		
成績評価の方法	定期試験素点70% 平常点20% 出席率10%		
担当教官から (履修に当たっての留意 点)	<p>ネイルの基礎技術を学び、資格取得を目指します。                  また、様々なネイルアートの基本を学び、作品制作へ向けてステップアップしま                  す。想像力・表現力・技術力を身につけ、イメージを形にしていきましょう。</p>		

2023年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	トータルビューティ科	授業科目区分(基専)	基礎分野
授業科目名	ビジネスマナーⅠⅡ	担 当 教 官 名	近藤 千明
対 象 学 生	第一学年	履 修 学 期	通 年
必修・選択の別	必修	授業回数	30回(30週)
授業のキーワード	サービス接客実務検定(3級・2級・準1級)の取得 接客スキル向上と就職活動に向けての選考対策		
授業の概要 及び到達目標	<p>サービス接客実務における基礎的な理解と、サービスを行うために必要な知識、技能を習得し、サービス接客検定試験 3級、2級、準1級合格を目指す。</p> <p>①ホスピタリティーマインドの理解と習得 ②接客場面における専門用語の理解 ③接客場面における対人技能と実技の習得</p> <p>仕事をイメージし、求められる言葉遣いや接客用語は繰り返しトレーニングし習得する。 社会人基礎力の能力向上とコミュニケーションで重要となる対人コミュニケーション能力を磨き、自分自身に自信を持ち行動できる能力形成を図る。</p>		
講義計画・内容	<p>1 3級対策Ⅰ サービススタッフの資質</p> <p>2 3級対策Ⅱ 専門知識</p> <p>3 3級対策Ⅲ 一般知識</p> <p>4 3級対策Ⅳ 対人技能</p> <p>5 3級対策Ⅴ 実務技能</p> <p>6 3級対策 記述対策</p> <p>7 3級対策 模擬試験</p> <p>8 3級試験 総仕上げ</p> <p>9 2級・準1級対策</p> <p>10 2級対策Ⅱ 専門知識</p> <p>11 2級対策Ⅲ 一般知識</p> <p>12 2級・準1級対策</p> <p>13 2級・準1級対策</p> <p>14 前期試験</p> <p>15 前期試験解説/夏期休暇課題説明</p>	<p>16 2級対策 夏休み課題のまとめ</p> <p>17 2級対策 記述対策①</p> <p>18 2級対策 記述対策②</p> <p>19 2級対策 記述対策③</p> <p>20 2級対策 模擬試験①</p> <p>21 2級対策 模擬試験②</p> <p>22 2級対策 弱点強化</p> <p>23 準1級面接試験対策・実技練習①</p> <p>24 準1級面接試験対策・実技練習②</p> <p>25 準1級面接試験対策・実技練習③</p> <p>26 準1級面接試験対策・実技練習③</p> <p>27 後期試験</p> <p>28 対策講座(面接練習)</p> <p>29 就職対策講座(面接練習)②</p> <p>30 就職対策講座(面接練習)③</p>	
準備学習	初回授業までにテキストを見ておいてください 毎回の授業の課題をしっかりと取り組んでください。 教室でできなかったところは次の授業までに必ず取り組んでおいてください。		
教科書・教材等	サービス業教科書 すらすら合格 サービス接客検定 準1級・2級・3級 テキスト&問題集(翔泳社)		
授業の形式 教育機器の活用	講義 視聴覚機器使用		
成績評価の方法	定期試験(前期・後期各1回)70%、出席点10% 平常点(発表・授業姿勢、課題提出、小テスト・期末テスト点数、検定試験合格など)20%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>・サービスと接客に関するお客様対応の心得を学びます。</p> <p>・サービス接客検定合格に向けて楽しめるよう工夫をして授業を進めていきます。</p> <p>・検定対策や就職対策に役立つよう、立居振舞・言葉遣いをトレーニングしましょう。</p> <p>1級・2級に向けた筆記試験、準1級に向けた実技試験に向けて頑張りましょう。</p>		

2023年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	フェイシャル基礎演習	担 当 教 官 名	小形 志佳
対象学生	第1学年	履修学期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	30回(15週)
授業のキーワード	フェイシャル基礎技術、接客マナー、おもてなし		
授業の概要 及び到達目標	<p>【日本エステティック協会認定フェイシャルエステティシャン資格】取得に向け、フェイシャルエステティック技術の基礎を身に付ける。</p> <p>①フェイシャルエステティック技術の基礎を理解し、衛生面・安全面を考慮した技術を行う事ができる。</p> <p>②基本の接客マナー、ソワンエステティックのおもてなしができるようになる。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション、セルフスキンケア</li> <li>2. ご案内～ターバン/小テスト</li> <li>3. ポイントクレンジング/小テスト</li> <li>4. ベースクレンジング/小テスト、パック</li> <li>5. S科コラボ:トレーニングルームオリエンテーション/レポート</li> <li>6. マッサージ基本手技(軽擦法)/小テスト</li> <li>7. マッサージ基本手技(強擦法)/小テスト、クールパック</li> <li>8. マッサージ基本手技(揉擦法)/小テスト、酵素クレンジング</li> <li>9. マッサージ基本手技(打法)/小テスト、美白ケア</li> <li>10. マッサージ基本手技(振動法、圧迫法)/小テスト</li> <li>11. マッサージ通し/小テスト</li> <li>12. クレンジングマッサージ通し</li> <li>13. クレンジング、マッサージ通し/小テスト</li> <li>14. フットケア</li> <li>15. コンテスト予選会/エステ祭り</li> </ol>		
準備学習	自分の肌と向き合い、丁寧に扱うことを心がけていきましょう。		
教科書・教材等	新エステティック学(技術編Ⅰ)、理論と技術、技術関連化粧品・器具		
授業の形式 教育機器の活用	演習 フェイシャルエステティック機器		
成績評価の方法	小テスト(10回)70% 平常点20% 出席率10%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	資格取得に向け、フェイシャルエステティック技術の基礎を学びながら、エステティックの楽しさや、面白さも知ってもらえたらと思います。技術の提供にあたり、必要な接客マナーやおもてなしの心も磨いていきましょう。		

2023年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	トータルビューティ科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	メイクアップ基礎理論/演習	担当教官名	こみ山えい子・福村 純子
対象学生	第1学年	履修学期	前期
必修・選択の別	必須	授業回数	45回(15週)
授業のキーワード	クレンジング、スキンケア、ベースメイク、ポイントメイク、顔のバランス分析		
授業の概要 及び到達目標	<p>①日本メイクアップ技術検定3級取得目標                  ②基本のフルメイクテクニック習得                  ③ヘアメイクのイメージ作り、作品撮影                  &lt;実務経験 こみ山&gt;                  美容歴24年目。フリーランスとして化粧品販売、ブライダルヘアメイク、メイクレッスン、パーソナルカラー診断、メイクアップアドバイザー育成に携わっている。                  &lt;実務経験 福村&gt;                  サロンオーナーとして15年間接客販売をし数多くの女性のメイクを担当。他にも短期大学にて卒業式のメイクや、成人式メイクをフリーで担当。</p>		
講義計画・内容	<p>①授業概要、テーブルセッティング、道具について、セルフメイク(ベースまで)                  ②モデルのセッティング、添え手について、顔分析、セルフメイク(ハイライト、ローライト、チーク)                  ③化粧水、乳液、下地、コントロールカラー、セルフメイク(眉メイク) 小テスト                  ④ファンデーション、コンシーラー、フェイスパウダー、セルフメイク(アイメイク・リップ) 小テスト                  ⑤ハイライト、ローライト、チーク、セルフメイク(基本のフルメイク) 小テスト                  ⑥前回までの手技確認、ポイントメイククレンジング、全体クレンジング、小テスト                  ⑦前回までの手技確認、3級内容通し、セルフメイク(イメージメイク)、小テスト                  ⑧3級内容通し、相モデル眉メイク、小テスト                  ⑨3級内容通し、相モデルアイメイク、リップメイク、小テスト                  ⑩メイクアップ技術検定3級模擬試験                  ⑪メイクアップ技術検定3級練習(計測) 小テスト                  ⑫メイクアップ技術検定3級試験日                  ⑬ペア決め・メイクシート作成の練習、フルメイク練習、小テスト                  ⑭イメージ作り、フルメイク練習、小テスト                  ⑮ヘアメイク作品撮影</p>		
準備学習	週に1日の授業の為、手技・手順の復習を毎週徹底するようにして下さい。		
教科書・教材等	日本メイクアップ技術検定テキスト2&3級、メイク道具一式		
授業の形式 教育機器の活用	メイクアップ技術検定テキスト2&3級、メイク道具一式		
成績評価の方法	試験(小テスト)素点70%、平常点20%、出席率10%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	フルメイクの基礎を学ぶ授業です。お客様のお肌へのスキンケア、メイクのタッチアップに携わる際の必要なポイントが組み込まれています。常に見られているという意識を心がけて身だしなみ・言葉遣い・心配り・立ち居振る舞い・道具の清潔感を保つなど、目の前の方に心地よいと感じていただくタッチアップを行えるようにして参りましょう。最終日にはモデルに合わせたイメージヘアメイクの撮影もしますので楽しみに取り組んで下さいね。疑問点等が出てきた場合は積極的に声をかけて下さいね。		

## 2023年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	トータルビューティ科	授業科目区分(基専)	基礎分野
授業科目名	情報社会学	担当教官名	深津 富栄
対象学生	第1学年	履修学期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	15回
授業のキーワード	情報処理 スキルアップ Word Excel PowerPoint アクセシビリティ プレゼンテーション タイピング		
授業の概要 及び到達目標	<p>授業の概要 コンピューターの基礎的な操作方法から応用までを学び、 ①Word・Excel・PowerPointの効率的で実践に役立つ操作方法を取得します。 ②レポート作成やプレゼンテーションの資料作成・発表のスキルを身に付けます。</p> <p>到達目標 ①Wordを使用し、簡潔で説得力のある質の高い文書が作成できる。 ②Excelを使用し、効率の良いデータの処理分析、目的に応じた適切な資料作成ができる。 ③PowerPointを使用し、見やすく説得力のあるスライドを作成し、作成したスライドを使って、内容をわかりやすく発表することができる。 ④就職後のOA処理業務に役立てることができる。</p> <p>実務者経験 Microsoft オフィシャル・トレーナー 1997年～ ECCコンピュータ学院(情報処理、日商検定) 2000年～ 立命館大学、同志社女子大学、大谷大学(情報処理演習、MOS) 京都医健専門学校、大阪ECO動物海洋専門学校、 大阪スクールオブミュージック専門学校</p>		
講義計画・内容	1 オリエンテーション Windows基礎 Word2019① 2 ITガイダンス ITリテラシー理解度テスト 3 Word2019② 4 Word2019③ 小テスト① 5 Word2019④ 小テスト② 6 Excel2019① 7 Excel2019② 小テスト③ 8 Excel2019③ 小テスト④ 9 Excel2019④ 小テスト⑤ 10 PowerPoint2019① 11 PowerPoint2019② 小テスト⑥ 12 PowerPoint2019③ 小テスト⑦ 13 PowerPoint2019④ 小テスト⑧ 14 PowerPoint2019⑤ 小テスト⑨ 15 PowerPoint2019⑥ プレゼンテーション発表会(小テスト⑩)		
準備学習	パソコンの基本操作(入力、保存方法など)を確認しておいてください。		
教科書・教材等	よくわかる Word2019 & Excel2019 & PowerPoint2019 FOM出版		
授業の形式 教育機器の活用	演習		
成績評価の方法	授業内課題(Word・Excel)、発表(プレゼンテーション): 70% 平常点: 20% 出席点: 10%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	Word・Excel・PowerPointは実務で必須のアプリケーションです。適正かつ効率的に使いこなせるよう、スキルを身につけていきます。またタイピングも取り入れ、一般社会のOA処理業務でも効率的で質の良い資料作成が出来るように実習していきます。自分で効率よく操作が出来るよう積極的に取り組んでください。		

## 2023年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	アドバイザー対策	担当教官名	丸本 美佳
対象学生	第2学年	履修学期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	30回(15週)
授業のキーワード	BAとしての接客スキル、モチベーション、プロ意識を向上させる。 店頭で即戦力となるお客様対応スキルの習得。		
授業の概要 及び到達目標	BAの仕事についての知識を高め、お客様に寄り添った接客や販売員としての意識を高める。 また、自身が働いているイメージを具現化するロールプレイングを用いてプロ意識の向上につなげる。①BAとしての1日の業務の流れ、接客の流れを理解する。 ②お客様の気持ちに寄り添った対応ができる。 ③BAとして自分がブランドの広告塔だ！という意識を高く持つことが出来る。 ④トークの引き出しをふやし、即戦力となるワード力を向上させる。 ～実務経験～2005年～2020年までの15年間MACにて勤務。在籍時は、売り場責任者、イベントアーティスト、デジタルプレスアーティストとして様々な業務に携わる。現在はフリーランスでメイクアップアドバイザーとし、メイクレッスンの講師などを務める。		
講義計画・内容	①オリエンテーション(自己紹介・今後の授業の説明・タッチアップ体験・自己分析による接客への活かし方) ②MACブランド勉強 (MACとは・タッチアップデモンストレーション・セルフメイク実習) ③接客について(オープニングからクローズまでの流れを理解する) ④接客実習(オープニングからカウンセリング・ロープレ) ⑤接客実習(タッチアップからクローズ・ロープレ) ⑥タッチアップ実習(タッチアップにフォーカスした実習) ⑦接客実習(オープニングからクローズまで・ロープレ) 動画撮影 ⑧中間テスト対策 (動画撮影でのフィードバックなどで苦手部分のフォーカス授業) ⑨中間テスト(オープニング～カウンセリングまで ※成績に反映) ⑩校外学習(接客体験) ⑪校外学習振り返り(それぞれのチームの発表など) ⑫接客実習(接客体験をいかしたロープレ・オープニングからクローズまで) 動画撮影 ⑬前期テスト対策 (動画撮影でのフィードバックなどで苦手部分のフォーカス授業) ⑭前期接客スキルテスト(動画撮影、提出 ※成績に反映) ⑮テストフィードバック・前期総復習 ※各週2コマ授業		
準備学習	コスメの接客を受ける機会があれば、印象的だったことや、自分も真似したいと思えることをみつけるるように意識して接客内容をよく聞いてください。		
教科書・教材等	筆記用具・メイク用品一式・動画撮影の授業時に撮影できるものとイヤホン		
授業の形式 教育機器の活用	演習		
成績評価の方法	テストを中間(50点)、期末(50点)の2回実施し、2回の合計にて成績に反映。 素点70% 平常点20% 出席率10%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	授業内で疑問に思うこと、わからないことがあれば、そのままにせず、必ず何でも聞いてください！聞くことは恥ずかしいことはありません。皆さんが成長するための大切な貴重な授業なので、自分自身の力になる為に質疑応答は必須です。お互いのコミュニケーションを大切に、皆さんが就職した時に実務に活かせる授業にし、販売員として大切な心得を習得しましょう。よろしくお願いします。		

2023年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	エステティック理論Ⅱ	担 当 教 官 名	伊藤真央
対 象 学 生	第2学年	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	30回(15週)
授業のキーワード	化粧品・法律・経営・運動生理学・救急法		
授業の概要 及び到達目標	<p>①フェイシャル・ボディ化粧品を中心に化粧品全般に対する理解を深め、化粧品に関するコンサルテーションができるようになる。化粧品の原料、性質、特徴などを理解することにより、お客様の状態と目的に合わせた的確な選択をする力をつける。</p> <p>②エステティックに関連する法律の基礎や特に関連の深い法律や用語を理解し、健全なエステティック業を行うための知識を身に付ける。エステティシャンとして法令遵守の意識を持つ。</p> <p>③サロンの開店や経営についての基本的な考え方を学び、サロンが繁栄するために必要なことが理解できるようになる。</p>		
講義計画・内容	<p>1.皮膚科学復習・化粧品概論(化粧品・医薬部外品と薬機法、化粧品の分類)</p> <p>2.化粧品概論(化粧品の品質と品質保証、化粧品の取り扱い上の留意点)、フェイシャル化粧品</p> <p>3.フェイシャル化粧品、ボディ化粧品、メイクアップ化粧品、ネイル化粧品、ヘアケア化粧品、フレグランス 小テスト①</p> <p>4.化粧品の原料、化粧品に用いられる薬剤とその働き</p> <p>5.化粧品学まとめ(コンサルテーション)、皮膚科学復習(皮膚断面図)、</p> <p>6.試験対策 小テスト②</p> <p>7.関連法規</p> <p>8.関連法規</p> <p>9.関連法規 小テスト③</p> <p>10.サロン経営学・救急法</p> <p>11.運動生理学 →経営学・救急法・運動生理学小テスト④</p> <p>12.上級試験対策</p> <p>13.1年後期～2年前期まとめ 小テスト⑤</p> <p>14.センター試験・上級試験対策</p> <p>15.センター試験・上級試験対策</p>		
準備学習	次回授業を行う範囲を一通り読んでおく		
教科書・教材等	日本エステティック協会 新エステティック学 理論編Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ		
授業の形式 教育機器の活用	講義、化粧品使用		
成績評価の方法	定期試験素点70%、平常点20%、出席点10%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>センター試験、上級の筆記試験も迫っているため、毎回の授業ごとに不明点や曖昧な点はクリアにしてひとつひとつ確実に理解していけるようにしましょう。</p> <p>どんどん専門用語も増えてくるので、余裕をもって授業を受けられるように予習として毎回事前に教科書に目を通しておいてください。</p> <p>エステティック業界全体として基礎のしっかりしたエステティシャンが求められています。</p> <p>正しい知識を身に付けることはお客様と真摯に向き合うことの第一歩です。</p>		

2023年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	エステティック理論Ⅲ 特別講義Ⅰ	担 当 教 官 名	酒巻 裕美
対 象 学 生	第2学年	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	30回(15週)
授業のキーワード	エステティックカウンセリング学/エステティック機器学/栄養学/公衆衛生・衛生管理/解剖生理学		
授業の概要 及び到達目標	<p>・カウンセリング学、機器学では精神及び機器の基礎原理、それを行う目的を理解する。</p> <p>・公衆衛生・衛生管理では衛生管理の遵守に努め事前の安全策を十分考え用意すると共に、万が一の状況に対応できる知識を備える。</p> <p>・解剖生理学では人体の構造とそれぞれの働きを理解し正しい施術を行えるようになる。</p> <p>・栄養学では栄養の必要量や成分を理解し食生活を通して人の健康と美の維持、増進の為の知識を学ぶ。</p> <p>※実務経験 エステティックサロンにてトータル美容実務5年 エステティックスクールにて講師17年</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. エステティックカウンセリング学/エステティック機器学①</li> <li>2. エステティック機器学②</li> <li>3. 栄養学①</li> <li>4. 栄養学②</li> <li>5. 栄養学③</li> <li>6. 公衆衛生・衛生管理 / 解剖生理学①</li> <li>7. 解剖生理学②</li> <li>8. 解剖生理学③</li> <li>9. 特別講義 シロダーラ</li> <li>10. 特別講義 シロダーラ</li> <li>11. 特別講義 シロダーラ</li> <li>12. 特別講義 シロダーラ</li> <li>13. 解剖生理学④</li> <li>14. 解剖生理学⑤</li> <li>15. テスト</li> </ol>		
準備学習	各单元ごとに内容を理解し正しい施術、アドバイスを実践する事へ繋げる。又、成績評価につながるテストに向け予習復習を行うこと。		
教科書・教材等	新エステティック学 理論編ⅠⅡⅢ		
授業の形式 教育機器の活用	講義		
成績評価の方法	試験(前期2回) 70% / 平常点 20% / 出席点 10%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	正しく安全で満足頂けるサービス、技術を提供する為、各单元ごとに理解を深め、実践に役立てる事が大切です。 常に実践をイメージして授業に取り組んでください。		

2023年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	カウンセリングⅡ、美容業界進路対策	担当 教 官 名	中西 香織
対象学生	第2学年	履修学期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	45回(15週)
授業のキーワード	スキンケア知識とメイク技術を習得し即戦力のBAに！！		
授業の概要 及び到達目標	<p>BAとしての心得や接客マナーをもう一度見つめなおし、就職後の即戦力として活躍できる必要な知識、技術、カウンセリング力を高めることを目標に授業を行う。</p> <p>1.メイク技術・スキンケア知識を習得し、お悩みに合ったアドバイスが出来る 2.お客様のご要望に合うメイクのご提案が出来る 3.ロープレを実施しトーク力を高め就職後の即戦力として活躍できる 4.コンテスト対策として、だれもが魅了する仕上りを作り上げることが出来る</p>		
講義計画・内容	<p>1.オリエンテーション(他己紹介・モチベーションシートを用いて自己分析を行う) 2.ブランド別でメイク練習1(1年次に勉強したブランドの復習)&amp;スキンケア知識(皮膚・肌について) 3.ブランド別でメイク練習2(最新コレクションからの国産ブランド研究)&amp;スキンケア知識(肌タイプ・肌悩みの原因を知る) 4.ブランド別でメイク練習3(最新コレクションからの外資ブランド研究)&amp;スキンケア知識(美容成分を知る、化粧品の使い方・選び方) 5.ブランド別メイク&amp;スキンケア知識(年代別肌の変化について、年代別メイク技術) 6.スキンケア知識の確認(マッサージテクニックの習得、カウンセリング～タッチアップの実践) 7.美しくなるためのスキンケア・メイクとは(生活習慣がもたらす肌への影響等) 8.コンテストにむけて1(マンダラチャートを使いコンテストまでのやるべき事を明確にする) 9.コンテストにむけて2(ブランドを決定しメイクチャート・カラーージュのイメージを確定する) 10.コンテストにむけて3(クラスのイメージ・会場装飾等を確定し準備) 11.コンテストにむけて4(メイクチャート・カラーージュを作成、時間内にメイクの完成) 12.コンテストにむけて5(最終調整:コンテストに必要な物の確認等) 13.コンテストにむけて6(最終調整) 14.テスト対策(スキンケア・メイク・トークの復習) 15.テスト</p>		
準備学習	ブランド別メイクの特徴を復習しておくこと		
教科書・教材等	筆記用具、メイクと道具一式、SPIの学習ができるもの		
授業の形式 教育機器の活用	演習		
成績評価の方法	素点70% : 平常点20% : 出席率10%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	コンテストの成功を目標にBAになるためのスキンケア知識を更に深め、メイク技術・トーク力・コミュニケーション力を磨いていきましょう！！		

2023年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	ジェルネイルⅡ・特別講義Ⅰ	担当教官名	柏原 沙織
対象学生	第2学年	履修学期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	60回(15週)
授業のキーワード	ジェルネイル・JNAジェルネイル技能検定試験(中級・上級)・ジェルアート		
授業の概要 及び到達目標	<p>ジェルネイルを施術するために必要な知識・技術を習得することは必須です。本実習では下記に示す内容を到達目標に進めます。</p> <p>①ジェルネイルの専門的知識・技術と多様なデザインを習得できる。</p> <p>②JNAジェル技能検定試験 中級合格を目指す。</p> <p>③JNAジェル技能検定試験 上級合格を目指し技術習得できる。</p>		
講義計画・内容	<p>1:授業スケジュール確認・ジェル中級説明・復習グラデーション</p> <p>2:ジェル 中級復習・フレンチ</p> <p>3:ジェル 中級復習・クリアスカルプチュア</p> <p>4:ジェル 中級復習</p> <p>5:ジェル 中級通し練習</p> <p>6:ジェル 中級通し練習</p> <p>7:ジェル 最終確認</p> <p>8:ジェル JNAジェル検定中級試験</p> <p>9:ジェル クリアスカルプチュア・アート</p> <p>10:ジェル ジェル チップオーバーレイ・アート</p> <p>11:ジェル チップオーバーレイ+フレンチ</p> <p>12:ジェル チップオーバーレイ+フラワー</p> <p>13:定期試験準備</p> <p>14:定期試験</p> <p>15:定期試験振り返り</p>		
準備学習	<p>演習・プリント等の課題を必ず提出する</p> <p>苦手箇所、ジェル検定試験前には、自主練習を行う</p>		
教科書・教材等	JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～		
授業の形式 教育機器の活用	講義演習		
成績評価の方法	定期試験素点70%・平常点20%・出席率10%		
担当教官から (履修に当たっての留意 点)	<p>ジェルネイルの専門的な知識・技術について学びます。身だしなみ・マナー・用具の衛生管理等を習得した後、JNAジェルネイル技能検定試験合格を目指します。また、サロンワークで使用する技術や多様な人気のデザインも学びますので意欲的に実習に取り組んで下さい。</p>		

## 2023年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	トータル美容Ⅱ(前半)	担 当 教 官 名	長尾 篤子
対象学生	第2学年	履修学期	前期
必修・選択の別	選択必修	授業回数	6コマ(3週)
授業のキーワード	基本テクニック、基本知識(デザイン・用途・カラーバランス)、ウェディングブーケとドレスの関係性		
授業の概要 及び到達目標	<p>【授業概要】基本知識からウェディングの現場で生かせる技術習得へと発展させ、シチュエーションに合わせてコーディネートのできる応用力を習得する。</p> <p>【到達目標】①多種多様な花に手触れ、形、色、質感よりインスピレーションを感じ、個々のデザイン性を広げることができる。②心身の美意識を向上させることができる。③美のプロフェッショナルを志す学生たちにとって、花の知識があり、花を扱うことができるテクニックを持ち合わせていることは独創的な創り手となるために必須である。 *実務経験* 2003年～2011年までフラワーアトリエ経営。資格取得コースを開講し、講師としての人材育成に努める。また、ウェディングプロデュース会社と契約し、婚礼会場での装飾を多数担当。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>『講義』 フラワーアレンジの基本知識 (デザイン、用途、カラーバランス)</li> <li>『実技』 基本スタイル(ラウンド) &amp; 花束</li> <li>『講義』 ウェディングフラワーの基本知識Ⅰ (ブーケ、ブートニア、ヘアオーナメント)</li> <li>『実技』 生花ブーケ(ホルダータイプ)</li> <li>『講義』 ウェディングフラワーの基本知識Ⅱ・空間装飾 (ドレスやヘアメイクとの相性)</li> <li>『実技』 室内デコレーション(投げ入れ、壁飾り)</li> </ol>		
準備学習	授業ではフラワーアレンジの基礎からウェディングフラワーの知識まで幅広く習得するため、事前にドレスデザインやブーケの種類などに注目しながら、様々なコンテンツでイメージトレーニングをすること。		
教科書・教材等	講師自作のテキストを使用		
授業の形式 教育機器の活用	講義・演習・実習		
成績評価の方法	期末試験(1回) 70% 平常点 20% 出席率 10%		
担当教官から (履修に当たっての留意 点)	花をより深く知るためには、自ら手に取る機会を増やすこと。開花の美しい様子はもちろんですが、枯れいく経緯も合わせて多く目にすることで理解が深まると考えられます。授業だけではなく、積極的に生活に花を取り入れるようにしてみてください。自身の心にも何か新しく美しい変化が訪れるはずですよ。そして、備わっている美意識に、より刺激を与えて欲しいと願います。		

2023年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	トータル美容Ⅱ	担 当 教 官 名	長谷川 咲希
対象学生	第2学年	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	9回(4週)
授業のキーワード	接客対応 サロン業務 ロールプレイング サロンワーク		
授業の概要 及び到達目標	<p>サロン業務と接客対応は、ネイリストとして習得することは必須である。本講義では、下記に示す内容を到達目標に講義を進める。</p> <p>①業務内容の基礎を理解し、お客様への対応ができる。 ②業務において、時間管理ができる。</p> <p>2016年からネイルサロンに勤務。2018年に渡豪し、現地サロンに勤務。帰国後、2020年から専門学校の非常勤講師として所属し、現在に至る。</p>		
講義計画・内容	<p>1. サロン業務について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電話対応・予約の取り方</li> <li>・カルテ、伝票、領収書の書き方</li> <li>・お会計のやり方</li> </ul> <p>2. 接客対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フットのアートサンプル作成</li> <li>・身だしなみについて</li> <li>・ロールプレイングのデモ</li> </ul> <p>3. 学内サロンに向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相モデルでロールプレイング</li> <li>・学内サロンの準備</li> </ul> <p>4. 学内サロン</p>		
準備学習	授業の復習をして分からなかった部分は、次の授業で質問できるようにまとめておく。ネイリストとしての身だしなみを整えて、授業に出席して下さい。		
教科書・教材等	JNAテクニカルシステム(ベーシック、アドバンス、フットケア、ジェルネイル)		
授業の形式 教育機器の活用	講義演習、AV機器、ネイル技術用品及び材料		
成績評価の方法	定期試験70%、平常点(授業態度、課題提出等)20%、出席率10%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	ネイルサロン就職後に、必須となるサロン業務と接客対応の授業です。ロールプレイングを用いて反復練習をする事により、自信を持ってお客様対応をできるようになってほしいです。スタッフ同士のコミュニケーションや、プロとしての身だしなみや姿勢などの大切さも学んでいきましょう。		



2023年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティ科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	パーソナルコーディネイト	担 当 教 官 名	奥田浩子
対 象 学 生	第2学年	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	15回(8週)
授業のキーワード	パーソナルカラーについて、美容におけるファッションとは、人とファッションの関連性		
授業の概要 及び到達目標	トータルビューティーにかかせない外見カアップの大きな部分を占めるパーソナルカラーについて、美容やファッションにむすびつけて幅広く学ぶ。		
講義計画・内容	1回目: パーソナルカラーとは 2回目: パーソナルカラー個別診断 3回目: 4シーズンの特徴 4回目: 4シーズンの内面的個性 5回目: パーソナルカラーとヘアメイク 6回目: パーソナルカラーとコーディネイト 7回目: パーソナルカラーとブライダル 8回目: 前期テスト		
準備学習	特になし		
教科書・教材等	①カラーライフ ②はじめてのパーソナルカラー		
授業の形式 教育機器の活用	講義とワークショップ及びマーケティングリサーチ		
成績評価の方法	ワークショップにおける提出物と筆記試験		
担当教官から (履修に当たっての留意 点)	パーソナルカラーとは何か。カラーの効果とはどのようなことか。日々の生活のなかで当たり前に取り入れているものではあるが、プロの視点になってとらえることができるよう、また、美容やファッションとの結びつきを考えられるよう習得してほしいと思います。 また、女性として、社会人として、自身のブランディング術を学んでほしいと思います。		

## 2023年度 京都医健専門学校 授業計画 (シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	フェイシャルエステⅡ トータルエステⅡ	担 当 教 官 名	酒巻 裕美
対 象 学 生	第2学年	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	60回(15週)
授業のキーワード	フェイシャルトリートメント(カウンセリング・機器)		
授業の概要 及び到達目標	<p>・皮膚や生理機能、化粧品役割を理解するとともに 機器の安全な使用法を習得し、肌の状態にあったトリートメントの 見極めと提供を行えるようにする。</p> <p>※実務経験 エステティックサロンにてトータル美容実務5年 エステティックスクールにて講師17年</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 機器復習(ブラシクレンジング・吸引)</li> <li>2. コンサルテーションシート作成</li> <li>3. フェイシャルマッサージ復習(学内サロン向け)</li> <li>4. フェイシャル機器①(超音波) / 小テスト</li> <li>5. フェイシャル機器②(高周波) / 小テスト</li> <li>6. フェイシャル機器③(反復練習)</li> <li>7. フェイシャル機器④(導入) / 小テスト</li> <li>8. フェイシャル機器⑤(導出) / 小テスト</li> <li>9. フェイシャル機器⑥(パター) / 小テスト</li> <li>10. 特別講義 シロダーラ</li> <li>11. 特別講義 シロダーラ</li> <li>12. フェイシャル機器⑦(サクション) / 小テスト</li> <li>13. フェイシャル機器⑧(反復練習)</li> <li>14. 総復習</li> <li>15. 総復習(学内コンテスト向けレッスン含む)</li> </ol>		
準備学習	機器・化粧品に対する知識を理解した上で肌にあったトリートメントの見極めを行えるようにする事。		
教科書・教材等	新エステティック学 技術編 I (AJETHTE) フェイシャル実技理論(AEA)		
授業の形式 教育機器の活用	演習		
成績評価の方法	試験(前期2回) 70% / 平常点 20% / 出席点 10%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	お客様の環境等をしっかり確認した上でトラブルの原因の追求を行い、健康的な美肌づくりを目標に取り組んでください。		

2023年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	ネイル演習Ⅱ	担 当 教 官 名	和田 可奈子
対象学生	第2学年	履 修 学 期	通年
必修・選択の別	必修	授業回数	45回(15週)
授業のキーワード	ネイルマシン、エアブラシ、アート、we are		
授業の概要 及び到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネイルマシン技法の取得。</li> <li>・エアブラシを用いてネイルデザインが出来るようになる。</li> <li>・後期のwe areに向けて、準備を進める。</li> </ul>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. マシン①</li> <li>2. マシン②</li> <li>3. マシン③</li> <li>4. マシン④</li> <li>5. アート①</li> <li>6. アート②</li> <li>7. ジェル検定対策</li> <li>8. アート③</li> <li>9. エアブラシ①</li> <li>10. エアブラシ②</li> <li>11. エアブラシ③</li> <li>12. We are①</li> <li>13. We are②</li> <li>14. We are③</li> <li>15. 定期試験</li> </ol>		
準備学習	学習した内容は、よく復習し身につけておくこと。現場で即戦力となる技術なので積極的に取り組んでください。		
教科書・教材等	JNAテクニカルシステムアドバンス		
授業の形式 教育機器の活用	講義・実習		
成績評価の方法	定期試験70% 平常点20% 出席率10%		
担当教官から (履修に当たっての留意 点)	2年生前期は、プロの現場で即戦力として使える技術を学びます。マシン・エアブラシ・アート等、1つ1つステップアップし、習得していきましょう。また、we areに向けて取り組んでいきます。		

2023年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	イメージクリエイションⅢ	担当 教 官 名	こみ山えい子
対象学生	第2年生	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	45回(15週)
授業のキーワード	イメージメイク、カウンセリング、メイクアドバイス、メイクシート		
授業の概要 及び到達目標	<p>①日本メイクアップ技術検定1級取得目標                  ②イメージメイクとカウンセリングトークを深く理解し、モデルの要望に合わせたメイクとアドバイスができるようになる。  <b>【実務経験】</b>                  美容メーカーにて美容アドバイザーとして6年間接客販売を行う。退社後、ブライダル事業部にて6年間ヘアメイク育成、マネジメント業務を行う。現在フリーランスとして9年目。ブライダルヘアメイク、メイクレッスン、パーソナルカラー診断、パーソナルカラーリスト養成スクールのメイク講師、JMA認定講師として美容専門学校でのメイク講師、プロのメイクアップアドバイザー育成業務を行う。</p>		
講義計画・内容	<p>①カウンセリング、イメージメイク理論、メイクアップの強弱                  ②顔分析について、ベース作り3パターン練習                  ③イメージメイク「キュート」理論・実習                  ④イメージメイク「キュート」実習 小テスト                  ⑤イメージメイク「フレッシュ」理論・実習                  ⑥イメージメイク「フレッシュ」実習 小テスト                  ⑦イメージメイク「エレガント」理論・実習                  ⑧イメージメイク「エレガント」実習 小テスト                  ⑨イメージメイク「クール」理論・実習                  ⑩イメージメイク「クール」実習 小テスト                  ⑪イメージメイク実習                  ⑫イメージメイク実習                  ⑬イメージメイク実習                  ⑭メイクアップ技術検定1級模擬試験 小テスト                  ⑮メイクアップ技術検定1級試験</p>		
準備学習	1人のモデルで4パターンのイメージメイクが時間内に出来るよう授業外での練習を行って下さい。		
教科書・教材等	日本メイクアップ技術検定テキスト1級、メイク道具一式		
授業の形式 教育機器の活用	演習		
成績評価の方法	試験(小テスト)素点70%・平常点20%・出席率10%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>難易度の高いメイク検定試験となります。                  技術力・接客力・知識力を高め、メイクアップの修整、イメージメイクの応用までの習得すると同時にお客様にわかりやすく伝える表現力やアドバイス力が必要となります。一人一人が課題に取り組み自信をもって試験に挑む為にも予習、復習を怠ることなく向き合ってください。そしてクラス全員で合格に向けて頑張りましょう。疑問点等が出てきた場合は積極的に声をかけて下さいね。</p>		

## 2023年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	イメージクリエイションⅡ	担 当 教 官 名	宮里里苗
対 象 学 生	第2学年	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授 業 回 数	45回(15週)
授業のキーワード	イメージクリエイション イメージメイク 作品制作 撮影		
授業の概要 及び到達目標	<p>イメージクリエイションⅡはイメージを形に表すことができる想像力と技術力を養う科目で、メイクアップ技術で仕事をする者にとって必要不可欠な能力である。本講義では下記に示す内容の到達目標に講義及び実習を進める。また、卒業制作の研究発表を行う準備として本授業で研究を始める。</p> <p>①撮影に対応した特殊なメイクアップ技法の基礎を理解し、実践できる。  ②メイクアップの様々なテーマを通してイメージを構築することができる。  ③作品制作を通して構築したイメージを形にすることができる。  ④仕上がった作品を撮影することにより作品全体の構図やバランスをデザインできる。  ⑤全国規模のメイクアップコンテストに参加することにより実力の確認と課題の明確化ができる。  ⑥卒業制作の研究発表を行う為の準備を始めることで研究の深度を深めより良い発表に繋がる。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.ガイダンス 今後のスケジュールについて 作品制作、卒業制作について</li> <li>2.スタイル画(顔)スタイル画(横顔) アイゾーンデザイン実習 模写メイク 卒業制作のテーマ・研究課題について</li> <li>3.スタイル画(バストアップ) 構図について 卒業制作チーム編成について</li> <li>4.創作付けまつ毛 卒業制作テーマ決定</li> <li>5.眉つぶし 創作付けまつ毛を用いたアイゾーンメイク実習 卒業制作準備</li> <li>6.KPコンテストテーマ発表(予定) 受賞作品研究 イマジネーション具体化レッスン デザイン案制作(スタイル画バストアップ) 卒業制作準備</li> <li>7.個別面談形式プレゼン発表 衣装等持参 相モデル制作 卒業制作準備</li> <li>8.撮影リハーサル①/バック紙決定・制作</li> <li>9.撮影リハーサル②/バック紙決定・制作</li> <li>10.撮影① エントリーシート完成</li> <li>11.撮影② エントリーシート完成</li> <li>13.卒業制作 進捗状況発表</li> <li>14.卒業制作 プレゼンテーション①</li> <li>15.卒業制作 プレゼンテーション②</li> </ol>		
準備学習	1学年時に学習したデザインの基礎の習得が必須。イメージの元になる資料集めを行っておく。またこの資料は定期的に発表する機会を設ける。作品制作に必要な小物の準備を行う。		
教科書・教材等	JMAテキスト3.2級・1級 筆記用具 メイク道具一式		
授業の形式 教育機器の活用	講義及びメイク実習 TV機材利用 PC利用 撮影スタジオ機材一式利用		
成績評価の方法	小テスト素点70% 平常点(課題提出率、授業態度等)20% 出席率10%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	メイクアップの仕事をする上でイメージを形にできる能力は欠かせません。本講義の前半では作品制作の基礎となるスタイル画から始まり、トータルコーディネートの強化、特殊な技法の習得など、あらゆる角度から表現力の幅を広げます。皆さんの想像力が開花することを楽しみにしています。		

2023年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	ボディエステⅡ	担 当 教 官 名	山口 彩
対 象 学 生	第2学年	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	60回(15週)
授業のキーワード	ボディ基礎技術、接客マナー、おもてなし、カウンセリング、ボディ機器		
授業の概要 及び到達目標	<p>身体の生理機能を踏まえ、各トリートメントの目的・効果を十分理解して、マッサージ、機器によるトリートメントを正しく安全に行えるようになる。 また、カウンセリングを通して、相手に合わせた技術を選択できるようになる。 《 実務経験 》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トータルエステティックスalon勤務約5年</li> <li>・美容専門学校にて講師約10年</li> </ul>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション、ボディパーツマッサージ①(脚)</li> <li>2. ボディパーツマッサージ②(脚)</li> <li>3. ボディパーツマッサージ③(腰背部)</li> <li>4. ボディパーツマッサージ④(腰背部)</li> <li>5. ボディパーツマッサージ⑤(腹部)</li> <li>6. ボディパーツマッサージ⑥(腹部)</li> <li>7. ボディパーツマッサージ復習</li> <li>8. コンサルテーション①</li> <li>9. シロダーラ</li> <li>10. コンサルテーション②</li> <li>11. 機器復習(G5)、ボディマッサージ</li> <li>12. コンサルテーション②</li> <li>13. 機器復習(低周波)、ボディマッサージ</li> <li>14. コンサルテーション④</li> <li>15. 総復習</li> </ol>		
準備学習	身体の生理機能、各トリートメントの禁忌事項・注意事項を理解した上で、正しく安全で効果的なトリートメントへ繋げること。		
教科書・教材等	新エステティック学テキスト、AEAテキスト		
授業の形式 教育機器の活用	実習		
成績評価の方法	試験 70% / 平常点 20% / 出席点 10%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	お客様に満足いただける接客や技術が提供できるように、技術と理論をつなげて理解し、授業に取り組んでいきましょう。		

令和 5 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	スチール撮影	担当教官名	井上 玲菜
対象学生	1年:ヘアメイクコース	履修学期	前期
必修・選択の別	選択必修	授業回数	30コマ(15週)
授業のキーワード	撮影、メイク、作品作成		
授業の概要 及び到達目標	メイクの道具を理解をし、基礎を学び、相手にメイクができるようになり、自身のイメージを表現できるように実習を進めます。		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.自己紹介・技術チェック</li> <li>2.肌の構造・スキンケア(理論)</li> <li>3.スキンケア・マッサージ・ベースメイク(理論・技術)</li> <li>4.ベースメイク(技術)ポイントメイク①チーク・リップ(理論)</li> <li>5.ベースメイク・ポイント②眉毛③ローライト・ハイライト(理論・技術)</li> <li>6.ポイントメイク①②③④アイメイク(理論・技術)</li> <li>7.テーマ別メイク①Girly,Feminine(cute MakeUp)</li> <li>8.テーマ別メイク②Elegant,Glamorous(Beauty MakeUp)</li> <li>9.テーマ別メイク③Cool,Frash(Cool Make Up)</li> <li>10.テーマ別メイク④Mode(Creative MakeUp)</li> <li>11.撮影準備(テーマ、モデル決め)撮影方法</li> <li>12.撮影準備(テーマ、モデル決め)撮影方法</li> <li>13.撮影(相モデル)携帯撮影or一眼レフ</li> <li>14.撮影(相モデル)携帯撮影or一眼レフ</li> <li>15.撮影(相モデル)携帯撮影or一眼レフ 試験解説</li> </ol>		
準備学習	自身なりの理解を必ず、テキスト、ノートに自分が理解出来る様書き込み、復習を行い次の授業で活かせるようにし、技術の向上を目指して下さい。		
教科書・教材等	ヘアー、メイク道具一式。筆記用具。		
授業の形式 教育機器の活用	講義・実習形式		
成績評価の方法	定期試験70%、小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	基礎が大事なので、しっかりと聞きメモを取り、わからないところは質問し、基礎を習得しましょう。 自己作品も最初はやりたいものをたくさん詰め込んでください。 いい作品になるように学んでいきましょう。		

令和 5 年度京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	フェイシャルエステ基礎演習	担 当 教 官 名	伊藤 真央
対象学生	1年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	30コマ(15週)
授業のキーワード	エステティックの歴史・皮膚・化粧品・生理学・衛生		
授業の概要 及び到達目標	<p>エステティックの本質、肌や身体の仕組み、トラブルの原因、美しく健康的に保つために必要な生活習慣・お手入れ方法・食生活など、エステティックに関する基礎的な知識を身に付ける。また、その知識を今後活かせるよう、認定フェイシャルエステティシャン資格を取得し、しっかりと自分のものにしてお客様の状態を正しく判断して最適なアドバイスやお手入れ方法の選択をできるようになる。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.【C.1 エステティックとは】【C.11 エステティックの基礎知識】【C.13 フェイシャルの基礎知識】 ※アンケート</li> <li>2.【C.13 フェイシャルの基礎知識】 セルフスキンケア</li> <li>3.【C.2ホメオスタシスとストレス】</li> <li>4.【C.3 身体のしくみと働き①】</li> <li>5.【C.3 身体のしくみと働き①】 小テスト①</li> <li>6.【C.5 皮膚のしくみと働き①】</li> <li>7.【C.5 皮膚のしくみと働き①】</li> <li>8.毛穴ケア・カウンセリング機器体験</li> <li>9.【C.6 皮膚のしくみと働き②】</li> <li>10.【C.6 皮膚のしくみと働き②】 小テスト②</li> <li>11.【C.7 エステティックカウンセリングとは】 パック体験</li> <li>12.【C.8 化粧品の種類と働き】</li> <li>13.【C.9 栄養の知識】【C.10 エステティックにおける衛生と消毒】 小テスト③</li> <li>14.資格試験対策・試験解説</li> <li>15.美顔器・マッサージ体験</li> </ol>		
準備学習	次回授業を行う範囲を一通り読んでおく。		
教科書・教材等	日本エステティック協会 「理論と技術」		
授業の形式 教育機器の活用	講義・関係する単位ではエステティック機器使用		
成績評価の方法	定期試験素点70%・平常点20%・出席率10%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>ヘアメイクというお仕事を目指すうえではヘアセットとメイクアップの知識・技術に加え、ベース(肌や髪や身体)を美しくする知識や技術も必要となってきます。メイク前にマッサージなどのお手入れをする必要があったり、お客様やモデルさんから美容に関するアドバイスを求められることもあります。お仕事をする上で、関連する知識や技術は多い方が絶対に可能性が広がります。信頼され、任せたいと思ってもらえるヘアメイクさんを目指して、皆さんが少しでも多くの知識・技術を身につけられることを願っています。難しい言葉なども出てきて大変なことあるかと思いますがいつでも遠慮なく質問してください。分からないことは早めに聞きに来てくださいね。</p>		

令和 5 年[京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	ネイル基礎演習	担 当 教 官 名	和田 可奈子
対 象 学 生	1年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	30コマ(15週)
授業のキーワード	爪の基礎知識、基礎技術、JNEC3級		
授業の概要 及び到達目標	<p>ネイル基礎技術の習得は、美容業界において必要な内容であり、下記到達目標に向けて講義を進める。</p> <p>①簡単なネイルケア、カラー、アートができる。</p> <p>②JNEC3級合格レベルに達する</p>		
講義計画・内容	<p>1.JNEC3級試験対策①                  2.JNEC3級試験対策②                  3.JNEC3級試験対策③                  4.JNEC3級試験対策④                  5.JNEC3級試験対策⑤                  6.JNEC3級試験対策⑥                  7.JNEC3級試験対策⑦                  8.JNEC3級試験対策⑧                  9.JNEC3級試験対策⑨                  10.JNEC3級試験対策⑩                  11.定期試験①                  12.定期試験②                  13.JNEC3級模擬試験・試験解説                  14.ジェルネイル・アートネイル                  15.ジェルネイル・アートネイル</p>		
準備学習	<p>使用するネイル用品を使い方や役割を理解しておく。定期的に小テストを行う。復習をする。ケア履修後は常に自分のネイルケアをしておく。</p>		
教科書・教材等	JNAテクニカルシステムベーシック		
授業の形式 教育機器の活用	講義、AV機器、ネイル技術用品及び材料		
成績評価の方法	定期試験70%、小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>美容分野において、ネイル技術は必要な知識技術の一つです。本講義では、JNEC3級試験合格を目指すとともに、実践に役立つ様な知識と技術を学びます。</p>		

令和 5 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	ヘアアレンジ I	担 当 教 官 名	石川 倫子
対象学生	1年:ヘアメイクコース	履修学期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	30コマ(15週)
授業のキーワード	ピニング バックコーム 面		
授業の概要 及び到達目標	<p>ヘアスタイルを整えるということは、エチケットとしての一面においても重要な要素ですが、施す内容によっては人物のイメージまでも変えることができます。基礎知識や技術を養い、美容職のプロフェッショナルを志す者として「ふさわしい身だしなみ」を整えられるよう、本講義では下記の内容を到達目標に講義及び実習を進めます。</p> <p>①ブロッキングの重要度を理解し、スライスを正しくとれる                  ②ホットカーラーを20分以内に、正しく巻くことができる                  ③イメージ別のヘアスタイリングができる(フォーマル・カジュアル)</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.道具の名称と用途の確認 授業の到達目標の説明 授業ルールの確認</li> <li>2.ブロッキング と一束</li> <li>3.ホットカーラー— デモンストレーション→実践練習</li> <li>4.ホットカーラー— 全頭巻き30分</li> <li>5.小テスト【ホットカーラー—20分】 ピニング</li> <li>6.三つ編み・編込み バックコーム</li> <li>7.&lt;フォーマルレッスン&gt;夜会巻き デモンストレーションと実践練習</li> <li>8.夜会巻き①</li> <li>9.夜会巻き②</li> <li>10.夜会巻き③</li> <li>11.夜会巻き④</li> <li>12.定期試験対策</li> <li>13.定期試験</li> <li>14.相モデルスタイリング</li> <li>15.試験解説 相モデル似合わせスタイリング</li> </ol>		
準備学習	授業毎の課題を確実にこなせるよう、復習を必ず行いましょう。		
教科書・教材等	毎授業配布するプリント		
授業の形式 教育機器の活用	実習形式		
成績評価の方法	定期試験70%、小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>「美しい身だしなみ」は、お客様からの「信頼」へと繋がります。授業を通して、接客業の基本である「身だしなみ」を整え、求められるイメージに合わせた印象を作れるようになりましょう。</p> <p>授業ではウィッグだけでは無く、相モデルでの施術を行います。自身のヘアはスタイリング剤などを付けない状態で受講してください。</p>		

令和 5 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	メイクアップ基礎演習	担 当 教 官 名	福村 純子・小林 結
対 象 学 生	1年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	30コマ(15週)
授業のキーワード	JMA3級取得を通して、自身の作品作成を行う		
授業の概要 及び到達目標	<p>スキンケアからベースメイクアップと、チーク・ハイライト・ローライトまでの基本技術の過程と仕上がりを学び、JMA3級を取得する。 基本ベースを理解した上で、創造力を発揮しテーマ別ヘアメイクを作成し作品撮影を行う為、下記に示す内容を到達目標に講義を進める。</p> <p>①JMA3級取得。 ②基礎的にヘアアレンジ・フルメイクができる。 ③テーマに沿った作品作成ができる。</p>		
講義計画・内容	<p>1.JMA3級対策① 2.JMA3級対策② 3.JMA3級対策③ 4.JMA3級対策④ 5.JMA3級対策⑤ 6.JMA3級対策⑥ 7.JMA3級対策⑦ 8.JMA3級対策⑧ 9.JMA3級対策⑨ 10.JMA3級対策⑩ 11.スタイル作成① 12.スタイル作成② 13.作品作成① 14.作品作成② 15.定期試験 試験解説</p>		
準備学習	<p>授業内の疑問は積極的に確認すること。 テキストの予習・復習を必ず行い授業に参加すること。</p>		
教科書・教材等	日本メイクアップ技術検定試験 公式テキスト3級2級・配布プリント		
授業の形式 教育機器の活用	実習形式		
成績評価の方法	定期試験70%、小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>作品作成を楽しみながら学んでいきましょう。自己作品を撮影し記録に残すことは今後の成長や就職活動にも重要になります。本講義では創作する為にどんな点に意識をしたり、どんなものからイメージ作成をするかなども伝えていきますので意欲的に授業に臨んでください。</p>		

令和 5 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	ビジネスマナー講座	担 当 教 官 名	日坂 美穂子
対象学生	1年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	選択必修	授業回数	15コマ(15週)
授業のキーワード	サービス接客検定3級級取得を通じて、接客スキルの向上と就職活動に向けての選考対策		
授業の概要 及び到達目標	<p>サービス接客検定試験のテキストを通じて、理解を深め、接客を行う上で求められる資質、専門知識、実務スキルの基本を学びます。 サービス接客検定試験3級について、次に示す内容を到達目標に講義を進めます。</p> <p>①ホスピタリティーマインドの理解と習得 ②接客専門用語の理解と実践 グループ討議などを通して、対人コミュニケーション能力向上を図ります。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.サービス接客検定①</li> <li>2.サービス接客検定②</li> <li>3.サービス接客対策③</li> <li>4.サービス接客対策④</li> <li>5.サービス接客対策⑤</li> <li>6.サービス接客対策⑥</li> <li>7.サービス接客対策⑦</li> <li>8.現場実習に出るにあたっての接客</li> <li>9.コミュニケーションの取り方</li> <li>10.接客マナー</li> <li>11.トラブル時の対応</li> <li>12.グループ討議①</li> <li>13.グループ討議②</li> <li>14.グループ討議③</li> <li>15.試験と試験解説</li> </ol>		
準備学習	授業ごとの課題を確実にこなせるよう、復習を必ず行いましょう。		
教科書・教材等	1回で受かる！ サービス接客検定2級-3級テキスト&問題集		
授業の形式 教育機器の活用	実習・講義形式		
成績評価の方法	定期試験70%、小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	お客様に満足いただくサービスを提供するためには、専門性の高い美容技術の習得だけでなく、顧客満足度を高めるスキルをサービス接客検定の習得に向けた取り組みを通して、実用性の高い接客スキルを身につけます。自信を持って就職活動に挑めるように社会人基礎知識を実践を交えて習得させます。		

令和 5 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	メイクアップ基礎演習	担 当 教 官 名	なかぢま ゆうこ
対 象 学 生	1年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	15コマ(15週)
授業のキーワード	スキンケア、ベースメイク、ポイントメイク、フルメイク、顔のバランス分析		
授業の概要 及び到達目標	<p>メイクアップの技術力を強化し幅広いメイクアップの表現を行うことができる。またメイクアップにおけるデザインの基礎を学び表現力を養うため、下記に示す内容を到達目標に講義を進めます。</p> <p>①アイブロウ、リップライン、アイラインなどの技術を短時間で確実に行う力が養われる。</p> <p>②フルメイクができるようになる。</p> <p>③デザインの基礎を学び、イメージに合わせて表現することができる。</p>		
講義計画・内容	<p>1.ヘアメイクの仕事と道具の説明</p> <p>2.現場ワークの説明</p> <p>3.パーソナルプロデュース・似合わせ</p> <p>4.タイプ別メイク(ガーリー・フェミニン)</p> <p>5.タイプ別メイク(フレッシュ・カジュアル)</p> <p>6.タイプ別メイク(エレガント・グラマラス)</p> <p>7.タイプ別メイク(クール・スタイリッシュ)</p> <p>8.タイプ別メイク(モード・クリエイティブ)</p> <p>9.撮影方法・カメラワーク・加工</p> <p>10.撮影ワーク(ガーリー・フェミニン・フレッシュ・カジュアル)</p> <p>11.撮影ワーク(エレガント・グラマラス・クール・スタイリッシュ)</p> <p>12.撮影ワーク(モード・クリエイティブ)</p> <p>13.メンズメイク</p> <p>14.ロケ撮影</p> <p>15.試験解説</p>		
準備学習	授業毎の課題を確実にこなせるよう、復習を必ず行いましょう。		
教科書・教材等	メイク用教材一式		
授業の形式 教育機器の活用	実習形式		
成績評価の方法	定期試験70%、小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>メイクの基礎を学ぶ授業です。10週目までにフルメイクができるようになり、最終的には学習した内容の総復習としてメイクの作品作りを行っていきます。また日常メイクでの悩みなどがありましたら授業を通してお答えしますので、沢山質問してくださいね。</p>		

令和 5 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	ヘアスタイリング I	担 当 教 官 名	なかぢま ゆうこ
対象学生	1年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	30コマ(15週)
授業のキーワード	ヘアアレンジの基礎技術を理解し実践できるようになる		
授業の概要 及び到達目標	<p>ヘアアレンジに必要な道具の理解をしヘアアレンジのパターンを覚え実践できるようになる為、下記に示す内容を到達目標に講義を進める。</p> <p>①正しい姿勢でヘアアレンジができる。 ②基本を活用し応用作品ができる。</p>		
講義計画・内容	<p>1.2年生合同ヘアアレンジ① 2.2年生合同ヘアアレンジ① 3.アシスタントワーク 4.ピンワーク① 5.ピンワーク② 6.ブロー技術 7.アイロン技術を使ったヘアアレンジ① 8.アイロン技術を使ったヘアアレンジ② 9.ウィッグ制作・企画・計画・準備 10.ウィッグ制作① 11.ウィッグ制作② 12.ウィッグ制作③ 13.ウィッグ制作④ 14.ロケ撮影 15.試験解説</p>		
準備学習	多くの美容雑誌を見て、メイク、ヘアアレンジのパターンを研究しましょう。		
教科書・教材等	配布プリント・ヘアアレンジ教材		
授業の形式 教育機器の活用	実習形式		
成績評価の方法	定期試験70%、小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>メイクアップ、ヘアアレンジを行うことで無限にモデルのイメージを変えることができます。</p> <p>基礎、基本をしっかりと理解し身に付けることが大切です。基本を習得したうえで応用にステップアップしていきますので、疑問はその都度解消していきましょう。</p>		

令和 5 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	基礎分野
授業科目名	就職対策講座 I	担 当 教 官 名	金岡 怜
対象学生	1年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	15コマ(15週)
授業のキーワード	自己分析、業界研究、就職活動、ホスピタリティ		
授業の概要 及び到達目標	<p>接客業に必要なサービスマインド養う。 ヘアメイクアーティストの業界理解を深め、業界に必要なマインドを身に付け主体的に行動できるようになる為、下記に示す内容を到達目標に講義を進める。</p> <p>①業界研究を実施し美容業界の理解し、説明できる。 ②コミュニケーション力を高め、自分から行動できる。 ③プレゼンテーション力を高め、相手に行動をしてもらうことができる。</p>		
講義計画・内容	<p>1.アソシエイトホスピタリティ養成講座1 2.アソシエイトホスピタリティ養成講座2 3.アソシエイトホスピタリティ養成講座3 4.アソシエイトホスピタリティ養成講座4 5.アソシエイトホスピタリティ養成講座5 6.アソシエイトホスピタリティ養成講座6 7.業界研究 8.業界研究 9.業界研究就活についての数字や自己分析 10.ヘアメイク・ブライダルの雇用形態 11.就職活動の流れを理解する 12.就職活動について① 13.就職活動について② 14.業界研究 15.試験解説</p>		
準備学習	<p>授業内の疑問は積極的に確認すること。 ホームページや情報誌等で色々なサロンを自分なりに研究しよう。</p>		
教科書・教材等	配布プリント		
授業の形式 教育機器の活用	講義形式		
成績評価の方法	定期試験70%、小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>美容技術を活かして仕事をする為に、職業を理解することは大切です。コミュニケーションやプレゼンテーションといった力を高めていくことを本講義の中では重視していきます。 将来的な面接対策としてまずは自分を知る。そしてそれをアウトプットできるようになりましょう。</p>		

令和 5 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	基礎分野
授業科目名	情報社会学	担当 教 官 名	なかぢま ゆうこ
対象学生	1年:ヘアメイクコース	履修学期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	15コマ(15週)
授業のキーワード	スチール・動画・編集		
授業の概要 及び到達目標	美容業界においてスチールや動画の編集技術は大変重要です。 様々なテーマのヘアメイクを作品として作成し、作品集を作り上げていきます。 就職活動にブックレットを持参できたり、SNSで美容アカウントを作れるように この講義ではヘアメイクに必要なスチールや映像の編集技術の取得を到達目 標に講義を進めていきます。		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.画像編集アプリ</li> <li>2.動画編集アプリ</li> <li>3.ナチュラル&amp;フレッシュ</li> <li>4.カジュアル&amp;ポップ</li> <li>5.キュート&amp;ガーリー</li> <li>6.モード&amp;スタイリッシュ</li> <li>7.エレガント&amp;グラマラス</li> <li>8.グランジ&amp;ヴィンテージ</li> <li>9.クリエイティブ</li> <li>10.韓国オルチャンメイク</li> <li>11.中国ワンホン&amp;チャイボーグ</li> <li>12.日本量産型&amp;地雷系&amp;純欲</li> <li>13.テーマに沿った動画の編集①</li> <li>14.テーマに沿った動画の編集②</li> <li>15.定期試験 試験解説</li> </ol>		
準備学習	スマートフォンでの動画撮影、編集		
教科書・教材等	配布プリント		
授業の形式 教育機器の活用	講義形式		
成績評価の方法	定期試験70%、小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	様々なスチール作品や動画作品を見て自身のセンスの幅を広げてください。 編集技術は、作品をどうイメージに編集していくかが大切です。 技術もちろん大切ですが、同じくらい構成を考えるのも必要になってくるので 雑誌やインターネットを活用して様々な作品に触れてみてください。		

令和 5 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)		専門分野	
授業科目名	ビジネスマナーⅡ	担 当 教 官 名	日坂 美穂子		
対象学生	1年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	後期		
必修・選択の別	選択必修	授 業 回 数	15コマ(15週)		
授業のキーワード	リクルートマナー、言葉遣い、ビジネス会話、しきたり				
授業の概要 及び到達目標	美容業界で働く人材として必要なビジネスマナーの知識・技能を取得するために下記に示す内容を到達目標に講義を進める。 ①学生から社会人への意識を切り替える ②社会において信頼と好感を得るための自己表現力を取得する ③リクルート(就職活動)で実践できるビジネスマナースキルを取得する				
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.オリエンテーション、ビジネスマナーの重要性</li> <li>2.リクルートマナー①</li> <li>3.リクルートマナー②</li> <li>4.ビジネスでの言葉遣い(挨拶・敬語)</li> <li>5.ビジネスの会話①(好印象の話し方・間違った敬語表現)</li> <li>6.ビジネスの会話②(わかりやすく伝える大切さ・傾聴力)</li> <li>7.技能トレーニング①(受付対応と訪問時のマナー)</li> <li>8.技能トレーニング②(紹介・名刺のマナー)</li> <li>9.技能トレーニング③(電話のマナー)</li> <li>10.技能トレーニング④(面接)</li> <li>11.交際のマナー</li> <li>12.日本のしきたり</li> <li>13.テーブルマナー(洋食・和食・その他)</li> <li>14.ビジネスマナー総括</li> <li>15.試験解説</li> </ol>				
準備学習	毎回授業の冒頭に前回の講義内容の振り返りを行い理解度を確認するため復習は必須とする。				
教科書・教材等	配布プリント				
授業の形式 教育機器の活用	実習・講義形式				
成績評価の方法	定期試験70% 小テスト(出席点含む)30%				
担当教官から (履修に当たっての留意点)	ビジネスマナーの講義で得た知識をいかに自分の中に落とし込んで実践していくかが重要なため、学生1人1人の理解度と技能スキルを確認しながらわかりやすく進めていきます。わからないところがあれば必ず質問してください。				

令和 5 年度京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	パーソナルカラー	担当教官名	工藤 真紀
対象学生	1年:ヘアメイクコース	履修学期	後期
必修・選択の別	選択必修	授業回数	15回(15週)
授業のキーワード	生まれ持った色素に基づく似合う色の知識 ヘアメイクへの活用法 パーソナルカラー検定3級		
授業の概要 及び到達目標	<p>学校の掲げる、職業人教育を通じて社会に貢献する事のできる人材育成を目指し、広く認識されはじめたパーソナルカラーについて学び、様々な顧客ニーズに対応できる力を身に付ける。</p> <p>①パーソナルカラーの基本となる理論(色素と似合う色の関係)を学ぶ                  ②パーソナルカラーを活用し個性を磨き「自分ブランディング」の大切さを知る                  ③顧客のニーズに合わせ色素に基づいた似合う色の提案ができるようになる                  ④パーソナルカラー検定3級に合格を目指す                  ⑤プロとしての+αの知識を身に付け業界から求められる人材となる</p>		
講義計画・内容	<p>①自己紹介 パーソナルカラー基本・色の三属性と色相環                  ②トーン・PCCSによる色表示 トーンマップ作成                  ③パーソナルカラーの4シーズンの分類とイメージについて                  ・ビジュアルコラージュについて(1)活用法 作り方                  ④ビジュアルコラージュについて(2)作成                  ⑤慣用色名 光と色 色覚効果                  ⑥似合う色と色素の関係(タイプ別の色素傾向)                  ⑦自分の色素確認とタイプ予想                  ・グループワークにて他の方と色素の違いを確認                  ⑧似合う色の見つけ方(1)ドレーピング方法の説明とデモンストレーション                  ⑨似合う色の見つけ方(2)似合う色と似合わない色の違い ドレーピング簡易診断                  ⑩似合う色の見つけ方(3)ドレーピング簡易診断体験(グループワークにて)                  ⑪似合う色の活用法(1)タイプ別の傾向 メイク アクセサリー 柄と素材)                  ⑫似合う色の活用法自分ブランディングについて                  ⑬検定対策(1) 模擬テスト* 過去問題は講師がコピーを用意                  ⑭定期テスト* 問題は講師が用意                  ⑮検定対策(2) 模擬テストの解説と検定のポイントについて説明</p>		
準備学習	多くの美容雑誌やポスター、コルトン、映画などを見て、ヘアメイクのイメージパターンを研究しましょう。		
教科書・教材等	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト・問題集・配色アイディアブック・配色カード199a・PCGSトーンマップ台紙 学生準備物/ファッション雑誌(コラージュ作成用)		
授業の形式 教育機器の活用	講義 実習(デモンストレーション) パーソナルカラー診断用ドレープ使用 カラーチャート使用		
成績評価の方法	定期テスト(検定模擬)70% 平常点(出席率・小テスト・提出物)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	ドレープによる似合う色の診断をしなくとも、その人の色素から似合う色の傾向を把握して、個性を活かすアドバイスが行える「色素に基づいたパーソナルカラー理論」は、美容業界において幅広く活用できる知識の一つです。 これから、美容関係のお仕事に就かれる皆さんにとって、必ず役立つ知識であり、また自分自身と向き合う機会にもなる授業です。 似合う色について楽しく学んで頂きながら、検定の合格も目指して参ります。		

令和 5 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	ヘアメイクアップ I	担 当 教 官 名	なかぢま ゆうこ
対象学生	1年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	選択必修	授業回数	30コマ(15週)
授業のキーワード	ヘアメイク、撮影、特殊メイク、舞台メイク、アシスタント		
授業の概要 及び到達目標	ヘアメイクとして働く際に必須の下記のスキルの理解・取得を目標に講義を進めます。 ①ヘアメイクのリアルワークとして必要なヘアメイク技術の取得 ②アシスタントとして必要なアシスタントワークの取得 ③業界用語、組織や仕組み、仕事別のヘアメイク技術の取得		
講義計画・内容	1.学内コンテスト対策① 2.学内コンテスト対策② 3.アシスタントワーク 4.テレビのヘアメイク 5.映画・舞台のヘアメイク 6.特殊ヘアメイク① 7.特殊ヘアメイク② 8.ライブのヘアメイク 9.広告CMのヘアメイク 10.雑誌のヘアメイク 11.ロケのヘアメイク 12.ブライダルヘアメイク 13.メンズメイク① 14.メンズメイク② 15.試験解説		
準備学習	授業毎の課題を確実にこなせるよう、復習を必ず行いましょう。		
教科書・教材等	メイク教材・ヘアアレンジ教材		
授業の形式 教育機器の活用	実習形式		
成績評価の方法	定期試験70%、小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	ヘアメイクとして現場に出た際に必要なスキルやアシスタントとして即戦力になれる技術を学びます。取得した技術はコンテストやアシスタントプログラムにも生きてくるのでぜひ活用してください。		

令和 5 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	基礎分野
授業科目名	ヘアスタイリングⅡ	担 当 教 官 名	なかぢま ゆうこ
対象学生	1年:ヘアメイクコース	履修学期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	15コマ(15週)
授業のキーワード	スチール・動画・編集		
授業の概要 及び到達目標	美容業界においてスチールや動画の編集技術は大変重要です。 様々なテーマのヘアメイクを作品として作成し、作品集を作り上げていきます。 就職活動にブックレットを持参できたり、SNSで美容アカウントを作れるように この講義ではヘアメイクに必要なスチールや映像の編集技術の取得を到達目 標に講義を進めていきます。		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.コンテスト対策①</li> <li>2.コンテスト対策②</li> <li>3.ナチュラル&amp;フレッシュ</li> <li>4.カジュアル&amp;ポップ</li> <li>5.キュート&amp;ガーリー</li> <li>6.モード&amp;スタイリッシュ</li> <li>7.エレガント&amp;グラマラス</li> <li>8.グランジ&amp;ヴィンテージ</li> <li>9.クリエイティブ</li> <li>10.韓国オルチャンメイク</li> <li>11.中国ワンホン&amp;チャイボーグ</li> <li>12.日本量産型&amp;地雷系&amp;純欲</li> <li>13.テーマに沿った動画①</li> <li>14.テーマに沿った動画②</li> <li>15.試験解説</li> </ol>		
準備学習	スマートフォンでの動画撮影、編集		
教科書・教材等	配布プリント		
授業の形式 教育機器の活用	講義形式		
成績評価の方法	定期試験70%、小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	様々なスチール作品や動画作品を見て自身のセンスの幅を広げてください。 編集技術は、作品をどういうイメージに編集していくかが大切です。 技術もちろん大切ですが、同じくらい構成を考えるのも必要になってくるので 雑誌やインターネットを活用して様々な作品に触れてみてください。		

令和 5 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	基礎分野
授業科目名	就職対策講座Ⅱ	担 当 教 官 名	なかぢま ゆうこ
対象学生	1年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	15コマ(15週)
授業のキーワード	履歴書、面接、就職活動、プレゼンテーション、自己分析		
授業の概要 及び到達目標	<p>自身の就職活動に向けた基本的知識と履歴書の書き方や面接対策などの知識を取得する為に下記に示す内容を到達目標に講義を進める。</p> <p>①グループワークや自己分析を通して自身のなりたい職種を決める。                  ②企業に合わせた服装の理解                  ③プレゼンテーション力を高め、自分の考えを他者に伝える力の取得                  ④履歴書の書き方の理解</p>		
講義計画・内容	<p>1.就活についての数字や自己分析                  2.就職活動の流れを理解する(島田先生)                  3.就職活動について(島田先生)                  4.業務研究①                  5.業界研究②                  6.業界研究③                  7.業界研究④                  8.業界研究⑤                  9.業界研究⑥                  10.業界研究⑦                  11.志望企業について                  12.他己分析・自己PR                  13.自己PRプレゼン                  14.志望企業の絞り込み                  15.試験解説</p>		
準備学習	<p>授業内の疑問は積極的に確認すること。                  ホームページや情報誌等で色々なサロンを自分なりに研究しよう。</p>		
教科書・教材等	配布プリント		
授業の形式 教育機器の活用	講義形式		
成績評価の方法	定期試験70%、小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>自己PRのプレゼンや他己分析では積極的に発言し、話す力を付けていって欲しいです。                  また、履歴書の書き方やスーツの着こなし等は必ず理解するよう疑問点はその都度解消していきましょう。</p>		

令和 5 年度年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	ヘアアレンジII	担 当 教 官 名	六川 直哉
対 象 学 生	1年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	30コマ(15週)
授業のキーワード	ヘアアレンジ技術の理解を深め、イメージ別ヘアメイクの施術ができるようになる		
授業の概要 及び到達目標	<p>基本となる知識・技術を学び、ヘアアレンジテクニックを理解し、実践することで求められる対応のできるプロフェッショナルとなるため、下記内容を到達目標に講義を進める。</p> <p>①基本となるヘアアレンジテクニックを習得し、多様なヘアアレンジが出来るようになる。</p> <p>②イメージに合わせたヘアアレンジを表現できるようになる。</p>		
講義計画・内容	<p>①コテアレンジ ②ハーフアップ ③ポニーテール ④編みおろし① ⑤編みおろし② ⑥ルーズシニヨン① ⑦ルーズシニヨン② ⑧アップスタイル① ⑨アップスタイル② ⑩カールアップ① ⑪カールアップ② ⑫ミドルアップ① ⑬ミドルアップ② ⑭試験対策 ⑮試験解説</p>		
準備学習	必要な道具や準備をし、授業に臨み、質の良い練習をできるよう心がけましょう。苦手はそのままにせず、反復練習を行い基礎を固めましょう。		
教科書・教材等	ヘア道具一式、ウィッグ		
授業の形式 教育機器の活用	演習		
成績評価の方法	定期試験70% 小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意 点)	<p>目標とするスタイルを観察し特徴を捉えて、完成をしっかりとイメージしてスタイルを作成すること。</p> <p>どのヘアアレンジも基礎の組み合わせで成り立つため、様々なスタイルを作る中で苦手な基礎技術を克服しましょう。</p>		

令和 5 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	アロマテラピー	担 当 教 官 名	江上 めぐみ
対 象 学 生	1年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	15コマ(15週)
授業のキーワード	香り・健康管理・美容・精油		
授業の概要 及び到達目標	<p>アロマテラピーの基本を学習する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アロマテラピーについて説明できる</li> <li>・精油について説明できる</li> <li>・安全性について説明できる</li> </ul> <p>アロマテラピーを仕事に活かす</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・精油のブレンド力を高める</li> <li>・実習を通して体感する</li> </ul>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>①課題(精油の抽出部位、抽出方法)</li> <li>②アロマテラピーとは 精油とは 実習:バスソルト作成</li> <li>③アロマテラピーに役立つ素材 アロマテラピーの利用法(実践)</li> <li>④精油のパレットシート作成(1)</li> <li>⑤精油のパレットシート作成(2) 実習:アロマスプレー作成</li> <li>⑥精油のパレットシート作成(3)</li> <li>⑦アロマテラピーのメカニズム 実習:ローション作成</li> <li>⑧ブレンドワーク(1)</li> <li>⑨ブレンドワーク(2)</li> <li>⑩アロマテラピーに役立つ素材(キャリアオイル)</li> <li>⑪精油の作用 実習:ボディパウダー作成</li> <li>⑫アロマテラピーに関係する法律 現場で活用できること</li> <li>⑬アロマテラピーの歴史 実習:ハンドクリーム作成</li> <li>⑭期末テスト</li> <li>⑮期末テスト(解答&amp;解説)</li> </ol>		
準備学習	テキストの復習		
教科書・教材等	教科書なし、レジュメおよびワークシートあり教材(アロマ検定精油キット20本)		
授業の形式 教育機器の活用	実習・座学		
成績評価の方法	定期試験70% 小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	アロマテラピーの知識は、美容へのアプローチとして、必要不可欠です。アロマテラピー検定に対応するための知識だけでなく、なるべくセルフケアや接客に役立つ知識もお話したいと考えています。積極的に取り組んでください。		

令和 5 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	ブライダル演習 I	担 当 教 官 名	石川 倫子
対 象 学 生	1年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	30コマ(15週)
授業のキーワード	ブライダルヘアアレンジ・ブライダルメイク		
授業の概要 及び到達目標	今までの技術を応用し様々なブライダルスタイルをスタイリング出来るようになる。 また実際にブライダルの現場で施術を行っている講師より現在のトレンドや現場での立ち振る舞いなどを体験談を交えながら伝えることにより学生がブライダルヘアメイクという職業をイメージしながら学ぶことが出来る		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ブライダルヘアメイクとは+実技</li> <li>2 花嫁衣装について(和・洋)とタキシード+実技</li> <li>3 参列衣装+実技</li> <li>4 ヘッドドレスの付け方とヘア</li> <li>5 ボディメイクとドレスフィッティング</li> <li>6 ヘアメイクイメージ作成</li> <li>7 撮影用ヘアメイク</li> <li>8 撮影用ヘアメイク</li> <li>9 ロケーション撮影 (+3,4限可能であれば)</li> <li>10 和装メイク</li> <li>11 新日本髪</li> <li>12 新日本髪</li> <li>13 和装ヘアメイク実技テスト</li> <li>14 試験解説</li> <li>15 振り返りまとめ</li> </ol>		
準備学習	技術の復習		
教科書・教材等	メイク教材・ヘアアレンジ教材		
授業の形式 教育機器の活用	実習形式		
成績評価の方法	定期試験70%、小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意 点)	ヘアスタイル、メイクのイメージを提案して作る事ができるようにイメージしていきましょう。		

令和 5 年度年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	スチール撮影Ⅱ	担 当 教 官 名	井上 玲菜
対 象 学 生	1年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	30コマ(15週)
授業のキーワード	メイクアップ技術の理解を深め、イメージ別ヘアメイクの施術ができるようになる		
授業の概要 及び到達目標	<p>基本のヘアメイクテクニックを理解し、実践することでイメージに合わせた作品作成できるように為、下記内容を到達目標に講義を進める。</p> <p>①メイクアップにおけるデザインの基礎を身につけ、イメージを構築できるようになる。</p> <p>②イメージに合わせたヘアアレンジとメイクアップができるようになる。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.ウィッグ制作</li> <li>2.ウィッグ制作</li> <li>3.色彩学</li> <li>4.形態学</li> <li>5.質感学</li> <li>6.イメージメイク キュート、フレッシュ</li> <li>7.イメージメイク エレガント、クール</li> <li>7.撮影を想定したヘアアレンジ①</li> <li>8.撮影を想定したヘアアレンジ②</li> <li>9.撮影デザイン検討</li> <li>10.撮影デザインの決定</li> <li>11.練習と調整</li> <li>12.練習と調整</li> <li>13.撮影を想定した、実際のモデルでリハ</li> <li>14.撮影</li> <li>15.試験解説</li> </ol>		
準備学習	多くの美容雑誌やポスター、コルトン、映画などを見て、ヘアメイクのイメージパターンを研究しましょう。		
教科書・教材等	メイク道具一式		
授業の形式 教育機器の活用	演習		
成績評価の方法	定期試験70% 小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意 点)	<p>ヘアメイクの応用を学ぶ授業です。</p> <p>それぞれのイメージを理解することが重要です。</p> <p>引き出しを多く持つことが、表現力の向上へ繋がります。</p> <p>ひとつひとつの理解をきちんと深めて、着実にステップアップしていきましょう。</p> <p>また、最終的にスチールでの作品を作成します。1年間学んできたことをふまえて素敵な作品を作りましょう。</p>		

令和 5 年度京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	トータルビューティー I	担当 教 官 名	宮里 里苗
対象学生	2年:ヘアメイクコース	履修学期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	30コマ(15週)
授業のキーワード	創造力を高め、より豊かな表現ができるアーティストになる。		
授業の概要 及び到達目標	<p>ヘアメイク・ブライダルヘアメイクの業界で必要とされる知識・技術を学び、プロフェッショナルに近づく為、下記の内容を到達目標に講義を進める。</p> <p>①これまでに身に付けた知識・技術をよりブラッシュアップする。                  ②時代のメイクアップの変遷を知ることによって様々なニーズに対応できるようになる。                  ③感性を高め、より人の心に響く作品を作ることができる。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.アイブロウ ドロウイングテクニック① アイブロウカットテクニック</li> <li>2.アイブロウ ドロウイングテクニック②</li> <li>3.アイブロウ ドロウイングテクニック③</li> <li>4.アートメイク① アニマル柄(哺乳類・魚類・爬虫類)パターン(ペーズリー柄・ハート・ツタ模様)</li> <li>5.アートメイク② チュール・フリル・レース・フリンジ</li> <li>6.アートメイク③ 薔薇・蝶</li> <li>7.アイゾーンメイクデザイン① 下地作りとデザインのバランス</li> <li>8.アイゾーンメイクデザイン② 創作付まつげ 眉つぶし 付まつげとメイクのバランス</li> <li>9.アイゾーンメイクデザイン③ ダブルライン・ダブルシャドー</li> <li>10.学内コンテスト対策①テーマ発表・サブテーマ決定・メイクデザイン案制作</li> <li>11.学内コンテスト対策②メイクデザイン案決定・ヘア決定・衣装、小物の案作成</li> <li>12.学内コンテスト対策③トータルイメージ決定</li> <li>13.学内コンテスト対策④</li> <li>14.学内コンテスト対策⑤</li> <li>15.試験解説</li> </ol>		
準備学習	授業で制作物にも取り組みます。必要な道具の一部は学校から貸し出しがありますが、学生個人で用意してもらった材料も発生します。事前に説明しますので早めに準備しておきましょう。		
教科書・教材等	メイク道具一式・筆記用具		
授業の形式 教育機器の活用	実習形式		
成績評価の方法	定期試験70% 小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	本講義ではメイクの様々な知識、技術を学びます。たくさん勉強した技法の中から、最終的にはそれらを自分で選択して、バランスよく配置し、メイクの作品を制作する力がつくように指導します。楽しみながら、学んでいきましょう。		

令和 5 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	トータル美容 I	担 当 教 官 名	高橋 彬
対象学生	2年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	15週(15週)
授業のキーワード	現場での即戦力になれるよう限られた時間の中で最高のパフォーマンスを行う。		
授業の概要 及び到達目標	<p>ヘアスタイルがきまらないと、その日1日の気分がさえない・・・          その日一日の仕事でのモチベーションやお客様の思い出の写真、その時々ヘアスタイルは1つの作品として残ります。          ヘアメイクという職業を通じ、お客様のその1日をより豊かに、より楽しく過ごしていただくための一端をになっていると考えています。          本講義では下記の内容を達成目標に講義及び実習を進めます。          ①4種類のコテ巻きを理解し正しく巻ける          ②6種類以上のアップ・ダウンスタイルを作ることができる。          ③20分以内にスタイルを作ることができる。</p>		
講義計画・内容	<p>1 1年生2年生交流学习          2 着物屋さんについて着付け          3 授業の到達目標の説明 授業ルールの確認 技術復習 コテ巻き          4 コテ巻きテスト スプレーの使い方 ハーフアップ トップアレンジ          5 ハーフアップテスト アップベースの作り方 下目アップ          6 アップベースをつかったアップテスト シニヨン作り方          7 シニヨンテスト 前髪応用 トップシニヨン          8 トップシニヨンテスト ポニーテール 編みおろし          9 編みおろしテスト お団子 高めアップ          10 高めアップテスト コーンロウ フルールヘア          11 編みこみテスト リボンヘア 似合わせの仕方          12 似合わせテスト 似合わせ相モデル          13 似合わせテスト 似合わせ相モデル          14 似合わせテスト 試験対策          15試験解説 テスト</p>		
準備学習	授業が始まる前にウィッグなど教室に用意してください。		
教科書・教材等	ヘア道具一式 ウィッグ ケープorタオル けたぼ ※基本カラーは使用しません		
授業の形式 教育機器の活用	実習		
成績評価の方法	定期試験70% 小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>ヘアセットは和装、洋装どちらも必要です。          同じスタイルでもニュアンスやシルエット、質感で雰囲気が変わります。          用途に合わせて作る練習をしましょう。          近年ヘアアレンジに小物をつかうことも多く、そのような場面にも対応できるようにしていきます。主にウィッグを使って授業を行うので忘れないようにお願いします。          相モデルもしますのでスタイリング剤はつけてこないでください。</p>		

令和 5 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	基礎分野
授業科目名	就職対策講座Ⅲ	担 当 教 官 名	高橋 彬
対象学生	2年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	15コマ(15週)
授業のキーワード	業界理解を深め業界に必要な人間力を高める。		
授業の概要 及び到達目標	<p>接客業に必要なサービスマインドを身につける。 ヘアメイクアーティストの業界理解を深め、業界で必要なマインドを身に付け主体的に行動できるようになる為、下記に示す内容を到達目標に講義を進める。</p> <p>①学生が希望する進路に必要なスキル・知識を得て、自らで考え、行動し、就職活動に活かすことができる。 ②業界研究を実施し美容業界の理解し、説明できる。 ③社会人として大切なマナー、一般常識の理解を得て、行動に責任をもてるようになる。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.希望職種に合わせた業界理解・求められる人材を理解する</li> <li>2.自分が興味のある職種の求人の探し方①</li> <li>3.自分に合う職種の求人の探し方②</li> <li>4.就職ガイダンスに臨むにあたって(礼儀作法・第1印象について)</li> <li>5.就職ガイダンスに臨むにあたって(礼儀作法・第2印象について)(実践)</li> <li>6.学生それぞれの希望職種に合わせた選考事例研究</li> <li>7.内定とは、内定礼状の書き方、封筒の書き方</li> <li>8.一般教養①</li> <li>9.一般教養②</li> <li>10.一般教養③</li> <li>11.一般教養④</li> <li>12.一般教養⑤</li> <li>13.仕事の基本 ホウレンソウ</li> <li>14.1～13回目の総復習</li> <li>15.試験解説</li> </ol>		
準備学習	授業内の疑問は積極的に確認すること。 毎授業の復習を実施し、次回授業に備える。		
教科書・教材等	配布プリント		
授業の形式 教育機器の活用	演習		
成績評価の方法	定期試験70% 小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	ヘアメイクアーティストとして仕事をする為に、職業を理解することは大切です。コミュニケーションやプレゼンテーションといった力を高めていくことを本講義の中では重視していきます。楽しみながら成長できるように進めていきますので、授業に積極的に取り組んで下さい。		

令和 5 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	美容総合技術Ⅰ	担 当 教 官 名	なかぢま ゆうこ
対象学生	2年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	30コマ(15週)
授業のキーワード	メイク・シチュエーション別メイク		
授業の概要 及び到達目標	<p>ヘアメイクアップアーティストとして必要な知識、技術を1年次より更に深め、応用技術を取得するため、またクライアントの要望を具体的にし、形にできるようになるために下記の到達目標に講義を進めていきます。</p> <p>①様々なシチュエーションに合ったメイクができるようになる。                  ②デザイン性のあるメイク技術を取得する。                  ③イメージを具体的に作成できるようになる。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. パーソナルプロデュース・似合わせ</li> <li>2. タイプ別(ガリー・フェミニン)</li> <li>3. タイプ別(フレッシュ・カジュアル)</li> <li>4. タイプ別(エレガント・グラマラス)</li> <li>5. タイプ別(クール・スタイリッシュ)</li> <li>6. タイプ別(モード・クリエイティブ)</li> <li>7. メンズヘアメイク①</li> <li>8. メンズヘアメイク②</li> <li>9. 撮影ワーク企画・計画・準備</li> <li>10. 撮影ワーク①</li> <li>11. 撮影ワーク②</li> <li>12. 撮影ワーク③</li> <li>13. 撮影ワーク④</li> <li>14. ロケ撮影</li> <li>15. 試験解説</li> </ol>		
準備学習	授業毎の課題を確実にこなせるよう、復習を必ず行いましょう。		
教科書・教材等	メイク道具一式		
授業の形式 教育機器の活用	実習形式		
成績評価の方法	定期試験70%、小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	1年次に学んだメイク技術の応用です。創作力と難度の高い技術力がつく内容になりますので、楽しみながら且つ真剣に学んでいきましょう。		

令和 5 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	舞台メイク	担 当 教 官 名	なかぢま ゆうこ
対象学生	2年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	30コマ(15週)
授業のキーワード	舞台メイク・ステージメイク・カツラ		
授業の概要 及び到達目標	<p>舞台に必要な特殊メイク道具が一通り使えるようになり、 様々なシチュエーションでヘアメイクアップアーティストとして 施術できるように下記を到達目標として講義を進める。</p> <p>①特殊メイク道具の使い方を理解する ②舞台・演劇・舞妓などシチュエーションに応じたヘアメイクができるようになる ③特殊メイクの応用技術を理解する</p>		
講義計画・内容	<p>1.舞台メイク基礎① contour アーライング 2.舞台メイク基礎②ドーラン 3.舞台メイク基礎③パンケーキ 4.舞台メイク基礎④練白粉 5.ジャンル別メイク(2.5次元) 6.ジャンル別メイク(マーメイド) 7.ジャンル別メイク(ピエロ) 8.ジャンル別メイク(ディズニー) 9.ジャンル別メイク(エイジング) 10.ジャンル別メイク(アメコミ) 11.ジャンル別メイク(宇宙メイク) 12.ジャンル別メイク(ペインティング) 13.ジャンル別メイク(アニマル) 14.ろけ 15.定期試験</p>		
準備学習	授業毎の課題を確実にこなせるよう、復習を必ず行いましょう。		
教科書・教材等	メイク道具一式		
授業の形式 教育機器の活用	実習形式		
成績評価の方法	定期試験70%、小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	色んなシチュエーションを想定して授業を行っていきます。 セルフメイクのときもあれば、相モデルで行うときもありますので、 楽しみながら学んでいってください。		

令和 5 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	ヘアメイクアップⅡ	担 当 教 官 名	井上 玲菜
対象学生	2年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	選択必修	授業回数	30コマ(15週)
授業のキーワード	撮影、メイク、作品作成		
授業の概要 及び到達目標	基礎を復習しながら、確実にイメージに近づけられるようし、臨機応変に対応できるようにする。		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.自己紹介・スキルチェック(フルメイク・ヘア1h・相モデル)</li> <li>2.スキンケア、マッサージ、ベースメイクアップ</li> <li>3.骨格メイク</li> <li>4.模写メイク</li> <li>5.FashionMakeUp(リップ・アイライン)</li> <li>6.FashionMakeUp(ダブルライン・カットクリス・付けまつ毛)</li> <li>7.FashionMakeUp(上記を使った、Original Fashion makeup)</li> <li>8.ヘアアレンジ(ウィッグ)</li> <li>9.スチール・ヘアメイク</li> <li>10.映像・ヘアメイク</li> <li>11.デザイン、キャラクター作り方</li> <li>12.撮影準備(テーマ、モデル決め)撮影方法</li> <li>13.撮影準備(テーマ、モデル決め)撮影方法</li> <li>14.撮影(相モデル) * 終わったチームはコンテストのテーマ決め</li> <li>15.撮影(相モデル) * 終わったチームはコンテストのテーマ決め</li> </ol>		
準備学習	自身なりの理解を必ず、テキスト、ノートに自分が理解出来る様書き込み、復習を行い次の授業で活かせるようにし、技術の向上を目指して下さい。		
教科書・教材等	ヘアー、メイク道具一式、筆記用具		
授業の形式 教育機器の活用	講義・実習形式		
成績評価の方法	定期試験70%、小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	2年生は基本的には相モデルでしていただきます。 人それぞれ違う骨格、肌質を持っているので、 色々な顔に触れてどんな人が来ても美しく作れ、 自身の美を見つけて下さい。		

令和 5 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	テクニカルヘアメイクⅠ	担 当 教 官 名	石川 倫子
対 象 学 生	2年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	30コマ(15週)
授業のキーワード	ブライダル・花嫁衣装・タキシード・撮影		
授業の概要 及び到達目標	<p>1年次に学んだ内容を更にブラッシュアップし、技術・知識ともに下記に示す内容を到達目標に講義を進める。</p> <p>①目指す業界のニーズを理解し、説明できる。</p> <p>②自分のイメージを、より忠実に表現ができる。</p>		
講義計画・内容	<p>1ブライダルヘアメイクについて・花嫁衣装ドレスフィッティング・小物の付け方の復習</p> <p>2 花嫁ヘアメイクリハーサル カウンセリング(実技)</p> <p>3 花嫁ヘアメイク 王道</p> <p>4 花嫁ヘアメイク 流行り</p> <p>5 浴衣着付け</p> <p>6 浴衣着付け</p> <p>7 浴衣に合うヘアメイク</p> <p>8 浴衣に合うヘアメイク</p> <p>9浴衣着付け 実技テスト</p> <p>10 浴衣でお出かけ</p> <p>11 浴衣でお出かけ</p> <p>12 花嫁ヘアメイク 個性的</p> <p>13 新郎ヘアメイク メンズ</p> <p>14 花嫁ヘアメイク 実技テスト</p> <p>15 試験解説</p>		
準備学習	<p>授業内の疑問は積極的に確認すること。</p> <p>毎授業の復習を実施し、次回授業に備える。</p>		
教科書・教材等	ヘアメイク教材・配布プリント		
授業の形式 教育機器の活用	実習形式		
成績評価の方法	定期試験70%、小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>1年生で学んだ内容をさらにレベルアップして、ブライダルヘアメイクに関する技術や知識だけでなく、ドレスやタキシードについても学んでいきます。最後にはフォトの作成もあるので、分からないことを分からないままにしておかず、必ず質問して理解できるようにしてください。</p>		

令和 5 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	トータルビューティーⅡ	担 当 教 官 名	宮里 里苗
対 象 学 生	2年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	30コマ(15週)
授業のキーワード	創造力を高め、より豊かな表現ができるアーティストになる。		
授業の概要 及び到達目標	<p>美容業界で必要とされる知識・技術を学び、プロフェッショナルに近づく為、下記の内容を到達目標に講義を進める。</p> <p>①これまでに身に付けた知識・技術をよりブラッシュアップする。</p> <p>②時代のメイクアップの変遷を知ることで様々なニーズに対応できるようになる。</p> <p>③感性を高め、より人の心に響く作品を作ることができる。</p>		
講義計画・内容	<p>1. 学内コンテスト対策①</p> <p>2. 学内コンテスト対策②</p> <p>3. 時代のメイクアップ 1920年代 クララ・ボウ</p> <p>4. クララ・ボウ 模写メイク</p> <p>5. 時代のメイクアップ 1950年代 オードリー・ヘップバーン</p> <p>6. オードリー・ヘップバーン 模写メイク</p> <p>7. 時代のメイクアップ 1950年代 マリリン・モンロー</p> <p>8. マリリン・モンロー 模写メイク</p> <p>9. 時代のメイクアップ 1960年代 ツウィッギー</p> <p>10. ツウィッギー 模写メイク</p> <p>11. 時代のメイクアップ 1980年代 ディスコクイーン デビットボウイ・山口小夜子</p> <p>12. ディスコクイーン 模写メイク</p> <p>13. 創作メイク①</p> <p>14. 創作メイク② 試験対策</p> <p>15. 試験解説</p>		
準備学習	制作をするにあたって、観たものや感じたことを振り返りながら構想を練り、必要な道具は事前に準備しておきましょう。		
教科書・教材等	配布プリント		
授業の形式 教育機器の活用	実習形式		
成績評価の方法	定期試験70% 小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意 点)	お客様のご要望を聴き、ニーズを汲み取り、よりよい技術の提供をする為に、普段から「良い」接客を受けるように心がけてください。 楽しみながら、学んでいきましょう。		

令和 5 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	基礎分野
授業科目名	外国語講座	担 当 教 官 名	Ty Murphy・金世鎮
対象学生	2年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	15コマ(15週)
授業のキーワード	英語圏・韓国の現在・歴史の文化、韓国生活や韓国の人気アイテム、英語・韓国語でのコミュニケーション		
授業の概要 及び到達目標	<p>K-popや韓国ドラマを通じて全世界的に韓国文化に対する関心が高まっている。このため自然に日本でも韓国語に対する関心も高まるようになった。その韓国の文化をもっと楽しめるように韓国語を学んで行きたいと思う。また、国際化の流れに大きく動いているため英語でのコミュニケーションも取れるようになる。</p> <p>教養的側面から韓国に対する理解を持ち、韓国語を習得できるようにすることを目指すとともに、英語と韓国の文化で活用している韓国語を習得できるようにする。</p> <p>1) 英語文化・韓国文化を理解できるようにする。                  2) 基礎的な英語・韓国語が聞こえる(分かる)ようにする。                  3) 英語・韓国語での会話ができるようにする。</p>		
講義計画・内容	<p>①授業計画の説明、初対面のあいさつ～お別れまでの会話ができる。自己紹介、友人の紹介ができる。                  ②好き・嫌い等の好みについての会話ができる。                  ③人を褒める&amp;褒められた際の会話表現。(衣服など)着ているものに関して述べる事が出来る。                  ④時間について表現する。日々の習慣について話す&amp;質問できる。                  ⑤道案内をする・場所を尋ねることが出来る。                  ⑥数やお金の数え方・価格や頻度についての質問や受け答えができる。                  ⑦復習+Test                  ⑧「アンニョンハセヨ」韓国の挨拶、韓国の文化について(「ハングル」自習のガイド)                  ⑨「韓国！何でやねん〜」;日本と韓国の違う文化、韓国の文化を理解しよう                  ⑩「韓国に行ったら?」;絶対失敗ない韓国旅行のために                  ⑪「なんでキムチ?ブルゴギ?」;韓国料理について                  ⑫「韓ドラあるある」;韓ドラで学ぶ韓国語                  ⑬「これはなあ〜に?」;韓国商品を韓国語で読もう                  ⑭ 学生の質問に答え、韓国語で会話、発音の練習、まとめ                  ⑮ 試験解説</p>		
準備学習	<p>毎回(7回)のミニテスト、レポートがあります。                  授業中の質問に答えることでの点数もあります。</p>		
教科書・教材等	配布資料&パワーポイント		
授業の形式 教育機器の活用	演習		
成績評価の方法	定期試験素点70% 平常点(課題提出率、授業態度等)20% 出席率10%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>日本と韓国は近いが遠い隣国という言葉があります。似たように見えても違うところがあります。</p> <p>これまでの日韓関係の様々な問題点があっても、お互いに理解し、親しくなったら深い話もできるでしょう。</p> <p>「言葉が通じるであれば友達になる」ように、言語を学びながら文化と隣国を理解し、お互いに学ぶことがあれば学んで、共に発展して行くことを望んでいます。</p> <p>そのような心で楽しく学んでください。</p>		

令和 5 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	基礎分野
授業科目名	保健体育	担 当 教 官 名	木村 望美
対象学生	2年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	15コマ(15週)
授業のキーワード	ボディバランス・ストレッチ・エアロビックダンス・栄養面についての講義		
授業の概要 及び到達目標	<p>近年、コロナ禍ということもあり若者の5人に4人が運動不足だといわれている。特に若い女性の運動不足は深刻で、運動を身に付けるように警鐘されている。</p> <p>本講義では下記に示す内容を到達目標に講義を進める。</p> <p>①運動することにより、心も身体も健やかになる。</p> <p>②身体を動かしてストレス発散させる。</p> <p>③ダイエットや栄養面について、正しい知識を得る。</p> <p>④この講義で少しでも身体を動かすことに楽しみを覚える。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.自己紹介&amp;姿勢チェック(立位・仰臥位)</li> <li>2.調整系レッスン</li> <li>3.家でも簡単にできるトレーニング</li> <li>4.企画レッスン～グループ編～(調べもの学習)</li> <li>5.企画レッスン～グループ編～(前回調べたものを提供)</li> <li>6.ペアストレッチ・マッサージ</li> <li>7.栄養面についての講義(ダイエットとは)</li> <li>8.エアロビックダンス体験(音楽に合わせて踊ろう!)</li> <li>9.企画レッスン～1人編～(調べもの学習)</li> <li>10.企画レッスン～1人編～(前回調べたものを提供)</li> <li>11.ピラティス・運動ツールを用いたレッスン体験</li> <li>12.テスト対策</li> <li>13.テスト</li> <li>14.テスト</li> <li>15.テスト返し・ラストレッスン</li> </ol>		
準備学習	授業内の疑問は積極的に確認すること。 毎授業の復習を実施し、次回授業に備える。		
教科書・教材等	動ける服装(ジャージなど)と室内運動靴(体育館シューズなど)		
授業の形式 教育機器の活用	演習・講義		
成績評価の方法	定期試験70% 小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>社会に出ると、運動する機会が減ってしまいます。運動することにより、自分の身体を丈夫にし、その元気やパワーを誰かに与えていけるようになって欲しいと思っております。また、ただただ運動するだけではなく、そこで運動の楽しさや必要さを感じていただければと思っております。この時間が皆さんにとって、学生生活の彩りになれば嬉しいと思い、担当させていただきます。</p>		

令和 5 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	テクニカルヘアメイクⅡ	担 当 教 官 名	六川 直哉
対象学生	2年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	30コマ(15週)
授業のキーワード	ヘアアレンジ・カラーメイク・TPO別メイク		
授業の概要 及び到達目標	2年間の集大成としてさらにスキルアップ+細部の技術向上、表現の幅を広げ、苦手克服をします。 ヘアアレンジ、メイク共に実践的な技術を取得し、タイムマネジメントも意識しプロの現場でも使えるレベルの技術を取得します。		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.短時間でできる実践向けヘアアレンジ①</li> <li>2.短時間でできる実践向けヘアアレンジ②</li> <li>3.短時間でできる実践向けヘアアレンジ③</li> <li>4.短時間でできる実践向けヘアアレンジ④</li> <li>5.カラーメイク①、顔まわりアレンジ①</li> <li>6.カラーメイク②、顔まわりアレンジ②</li> <li>7.カラーメイク③、顔まわりアレンジ③</li> <li>8.カラーメイク④、顔まわりアレンジ④</li> <li>9.TPO別メイク①</li> <li>10.TPO別メイク②</li> <li>11.TPO別メイク③</li> <li>12.TPO別メイク④</li> <li>13.バランスメイクとヘア①</li> <li>14.バランスメイクとヘア②</li> <li>15.試験解説</li> </ol>		
準備学習	授業毎の課題を確実にこなせるよう、復習を必ず行いましょう。		
教科書・教材等	毎授業配布するプリント、メイク道具一式		
授業の形式 教育機器の活用	実習形式		
成績評価の方法	定期試験70%、小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	2年間の集大成としてさらにスキルアップ+細部の技術の向上、苦手克服を目指します。分からないことは必ず質問して分からないままにしないでください。		

令和 5 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	トータル美容Ⅱ	担 当 教 官 名	六川 直哉
対 象 学 生	2年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	15コマ(15週)
授業のキーワード	現場での即戦力になれるよう限られた時間の中で最高のパフォーマンスを行う。		
授業の概要 及び到達目標	<p>ヘアスタイルがきまらないと、その日1日の気分がさえない・・・          その日一日の仕事でのモチベーションやお客様の思い出の写真、その時々          のヘアスタイルは1つの作品として残ります。          ヘアメイクという職業を通じ、お客様のその1日をより豊かに、より楽しく過ご          していただくための一端をになっていると考えています。          本講義では下記の内容を達成目標に講義及び実習を進めます。</p> <p>①4種類のコテ巻きを理解し正しく巻ける          ②6種類以上のアップ・ダウンスタイルを作ることができる。          ③15分以内にスタイルを作ることができる。</p>		
講義計画・内容	<p>1.学内コンテストリハ          2.学内コンテストリハ          3.学内コンテストリハ          4.学内コンテストリハ          5.授業の到達目標の説明 授業ルールの確認 逆毛の復習          6.和装洋装で使えるおおきめのシニヨン          7.前回の復習          8.和装前髪立ち上げ流し          9.最新アップベースの作り方          10.アップベースを使った編みおろし          11.コーンロウ          12.紐やリボンを使ったアレンジ          13.試験対策          14.試験対策          15.試験解説</p>		
準備学習	授業毎の課題を確実にこなせるよう、復習を必ず行いましょう。		
教科書・教材等	ヘア道具一式 ウィッグ		
授業の形式 教育機器の活用	実習		
成績評価の方法	定期試験70% 小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意 点)	<p>ヘアセットは和装、洋装どちらも必要です。          同じスタイルでもニュアンスやシルエット、質感で雰囲気が変わります。          用途に合わせて作る練習をしましょう。          近年ヘアアレンジに小物をつかうことも多く、そのような場面にも対応できる          ようにしていきます。主にウィッグを使って授業を行うので忘れないようにお          願いします。</p>		

令和 5 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	美容総合技術Ⅱ	担 当 教 官 名	なかぢま ゆうこ
対象学生	2年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	30コマ(15週)
授業のキーワード	メイク・シチュエーション別メイク		
授業の概要 及び到達目標	自分の作品テーマや作風を決めて、自分で撮影していきます。12作品を作成し最終的に製本して作品集を制作します。就職してからの作品制作やSNSの活動をしていくための撮影技術とテーマに沿ったヘアメイクテクニックを取得します。		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.テーマ決め</li> <li>2.製本イメージ制作</li> <li>3.作品制作・撮影①</li> <li>4.作品制作・撮影②</li> <li>5.作品制作・撮影③</li> <li>6.作品制作・撮影④</li> <li>7.作品制作・撮影⑤</li> <li>8.作品制作・撮影⑥</li> <li>9.作品制作・撮影⑦</li> <li>10.作品制作・撮影⑧</li> <li>11.作品制作・撮影⑨</li> <li>12.作品制作・撮影⑩</li> <li>13.作品制作・撮影⑪</li> <li>14.作品制作・撮影⑫</li> <li>15.試験解説</li> </ol>		
準備学習	毎授業の撮影テーマは各自で授業まで決めてきてください。		
教科書・教材等	ヘアメイク道具一式		
授業の形式 教育機器の活用	実習形式		
成績評価の方法	定期試験70%、小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	2年間の集大成としてフォトアルバムを作成します。妥協することなく、仕上げてほしいので、毎回テーマをしっかり決めて作品撮影にのぞんでください。最高のアルバムを作りましょう。		

令和 5 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	卒業制作	担 当 教 官 名	なかぢまゆうこ
対象学生	2年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	30コマ(15週)
授業のキーワード	作品作成、ヘアメイク、トータルバランス		
授業の概要 及び到達目標	<p>2年間の集大成として京都医健の卒業制作発表の場「We are IKEN」で研究発表を行う。</p> <p>①作品作成を行うにあたりモデルをトータルでコーディネートできるようになる</p> <p>②テーマに沿って自らイメージしたものが形にできるようになる</p>		
講義計画・内容	<p>1.スケジュール確認 進捗状況報告 ショーの構成について/参考動画視聴 音源・画像、動画の著作権について</p> <p>2.サブテーマ決め、イメージプリント作成</p> <p>3.作品作成①</p> <p>4.作品作成②</p> <p>5.作品作成③</p> <p>6.作品作成④</p> <p>7.作品作成⑤</p> <p>8.作品作成⑥</p> <p>9.作品作成⑦</p> <p>10.作品作成⑧</p> <p>11.作品作成⑨</p> <p>12.作品作成⑩</p> <p>13.作品作成⑪</p> <p>14.作品作成⑫</p> <p>15.試験解説</p>		
準備学習	授業毎の課題を確実にこなせるよう、復習を必ず行いましょう。		
教科書・教材等	メイク道具一式		
授業の形式 教育機器の活用	実習形式		
成績評価の方法	定期試験70%、小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>本講義では、今まで研究した事をまとめ、大きな舞台で発表していただきます。幅広い知識と今まで経験してきた事を盛り込み、学生ならではの柔軟な発想力でユニークで説得力のある素晴らしい作品作成になります。興味を持ったことを深掘してみる視点を常に持って生活することから始めてみると、作品発表がもっと楽しくなるはずです。一緒に面白い研究にしていきましょう！</p>		

令和 5 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	ヘアメイクメイクアップⅢ	担 当 教 官 名	井上 怜菜
対象学生	2年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	30コマ(15週)
授業のキーワード	ヘアアレンジ、シニヨン、コンテスト		
授業の概要 及び到達目標	<p>今までに習得した技術を用い人頭でタイムを意識して仕上げられるようになるために下記に示す内容を到達目標に講義を進める。</p> <p>①タイムマネジメントを正確にし、時間内に作品作成ができるようになる</p> <p>②自分のイメージを忠実に表現ができる。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.学内コンテスト対策①</li> <li>2.学内コンテスト対策②</li> <li>3.四つ編み、四つ編み(丸型)を使用したヘアアレンジ</li> <li>4.相モデル</li> <li>5.編みおろし</li> <li>6.アップクロスブレード①</li> <li>7.アップクロスブレード②</li> <li>8.カールアップ①</li> <li>9.カールアップ②</li> <li>10.オリジナルデザインセット①テーマ決め</li> <li>11.オリジナルデザインセット②</li> <li>12.オリジナルデザインセット③</li> <li>13.we are対策①</li> <li>14.we are対策②</li> <li>15.試験解説</li> </ol>		
準備学習	毎授業の復習を実施し、次回の授業に備える。		
教科書・教材等	ヘアアレンジ教材		
授業の形式 教育機器の活用	実習形式		
成績評価の方法	定期試験70%、小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	2年生の後期になるので、全員がやったことがあるではなく、『やる事が出来る』ようになるために講義を進めていきます。2年間の集大成になるので授業では質問するなど、積極的に参加してください。		

令和 5 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	ブライダル総合	担 当 教 官 名	石川 倫子
対象学生	2年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	30コマ(15週)
授業のキーワード	ブライダル・ウェディングドレス・留袖・着付け		
授業の概要 及び到達目標	<p>前期で学んだドレスフィッティングをさらにブラッシュアップするとともに留袖を着付けられるようになるため、下記の内容を到達目標に講義をすすめる。</p> <p>①留袖についての知識を取得する                  ②留袖の着付けについて理解する                  ③留袖の着付けを他人に行うことができる                  ③ブライダルヘアメイクを活かしフォト作品を作成する。</p>		
講義計画・内容	<p>1.ドレスフィッティング 復習                  2.和装小物について                  3.着付け 補正                  4.留袖着付け                  5.留袖着付け                  6.留袖着付け                  7.留袖着付け                  8.留袖着付け                  9.留袖着付け                  10.留袖着付け                  11.留袖着付け                  12.留袖着付け                  13.留袖着付け実技テスト                  14.試験解説                  15.まとめ</p>		
準備学習	<p>授業内の疑問は積極的に確認すること。                  毎授業の復習を実施し、次回授業に備える。</p>		
教科書・教材等	ヘアメイク教材・配布プリント		
授業の形式 教育機器の活用	実習形式		
成績評価の方法	定期試験70%、小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>留袖の着付けは非常に難易度が高いです。分からないことを分からないままにしておかず、必ず質問して理解できるようにしてください。</p>		

令和 5 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	イメージクリエイション I	担 当 教 官 名	宮里里苗
対 象 学 生	第1学年	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	30回(15週)
授業のキーワード	イメージメイク 作品制作 メイクテクニック		
授業の概要 及び到達目標	<p>メイクアップの技術力を強化し幅広いメイクアップの表現を行うことができる。 またメイクアップにおけるデザインの基礎を学び表現力を養うことができる。</p> <p>①アイブロウ、リップライン、アイラインなどの技術を短時間で確実に行う力が養われる。 ②JMA2級合格レベルのメイクアップができるようになる ③デザインの基礎を学び、イメージに合わせて表現することができる。</p>		
講義計画・内容	<p>1.ガイダンス/デザインの基礎①色彩 2.デザインの基礎②形態 3.デザインの基礎③質感 4.アイブロウ特訓① 5.アイブロウ特訓② 6.アイブロウ特訓③ 7.リップライン特訓① 8.リップライン特訓② 9.リップライン特訓③ 10.ベースメイク特訓①/アイメイク特訓① 11.ベースメイク特訓②/アイメイク特訓② 12.ベースメイク特訓③/アイメイク特訓③ 13.コンタリング/スモーキーアイ 14.ダブルライン・ダブルシャドー 15.期末試験 実技</p>		
準備学習	テクニックの強化を中心に行います。授業以外での自主練習が必須。		
教科書・教材等	JMA公式テキスト3.2級・JMA公式テキスト1級メイク道具一式		
授業の形式 教育機器の活用	講義及びメイク実習		
成績評価の方法	定期試験70% 平常点(課題提出率、授業態度等)20% 出席率10%		
担当教官から (履修に当たっての留意 点)	<p>本講義では、テクニックの強化を中心に行います。相モデルは毎回変更します。 講師からの合格が出るまでひたすら同じ課題に向き合うなど忍耐力が求められる場面も出てきます。メイクアップの技術力は才能ではなく取り組んだ質と量に比例します。一流のメイクアップ技術者を目指して一緒にがんばりましょう！</p>		

令和 5 年度年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	エステティック理論 I	担 当 教 官 名	伊藤真央
対象学生	第1学年	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	30回(15週)
授業のキーワード	エステティックの歴史・ホメオスタシス・皮膚		
授業の概要 及び到達目標	<p>①エステティックの本質と現状を知ることで、エステティシャンとしての社会的な役割と基本的な心構えを理解する。</p> <p>②ホメオスタシスはすべての生命活動の基本原理解であること、自律神経・内分泌系・免疫系を中心とするシステムによって行われていること、ストレス反応・自然治癒力・エステティックの効果もすべてホメオスタシスと深く関わることを理解する。</p> <p>③皮膚は身体を守るバリアとして外部からの影響を防ぎ、身体内部のホメオスタシスに大きな役割を果たしていることを理解する。</p> <p>④皮膚の働きとしくみを理解し、美しく健康に保つためのスキンケアの知識を身に付ける。</p>		
講義計画・内容	<p>1回目: エステティック概論(エステティックの概念・エステティックの本質と領域・ソワンエステティック)</p> <p>2回目: エステティック概論(美と健康・エステティシャンとしての心構え・日本のエステティック・世界のエステティック)※小テスト①</p> <p>3回目: 生命活動とホメオスタシス(生命と適応進化の歴史・ホメオスタシスとは)</p> <p>4回目: 生命活動とホメオスタシス(ホメオスタシスを制御するしくみ)</p> <p>5回目: 生命活動とホメオスタシス(ホメオスタシスを乱すストレス) ※小テスト②</p> <p>6回目: 皮膚科学(皮膚の基礎知識・皮膚の構造)※小テスト③</p> <p>7回目: 皮膚科学(美容上大切な皮膚の6つの働き)※小テスト④</p> <p>8回目: 皮膚科学(美容上大切な皮膚の6つの働き)※小テスト⑤</p> <p>9回目: 皮膚の構造※小テスト⑥</p> <p>10回目: 皮膚科学(肌の美しさを損ねる要因)※小テスト⑦</p> <p>11回目: 皮膚科学(肌の美しさを損ねる要因)・皮膚の悩みの原因探し※小テスト⑧</p> <p>12回目: 皮膚科学(さまざまな肌状態)※小テスト⑨</p> <p>13回目: 皮膚科学(さまざまな肌状態)※小テスト⑩</p> <p>14回目: 総復習・カウンセリング</p> <p>15回目: 試験振り返り・カウンセリング</p>		
準備学習	<p>前期で行った「エステティックとは」「ホメオスタシスとストレス」「皮膚のしくみと働き①②」がベースとなるので、復習しておく。</p> <p>皮膚の構造もそれぞれの名称は正しく覚えておく。</p>		
教科書・教材等	日本エステティック協会 新エステティック学 理論編 I・理論編 III		
授業の形式 教育機器の活用	講義・エステティック機器使用		
成績評価の方法	小テスト×10回(定期試験)70%・平常点20%・出席点10%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>前期の理論の内容が基礎となり、後期はより広く深くエステティックについて勉強します。</p> <p>エステティック業界全体として基礎のしっかりしたエステティシャンが求められています。</p> <p>正しい知識を身に付けることはお客様と真摯に向き合うことの第一歩です。</p> <p>お客様の肌・身体・心に寄り添えるエステティシャンをめざして</p> <p>技術と知識は繋がっているということを実感しながら、両方のレベルを上げていてもらいたいと思います。</p>		

令和 5 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	基礎分野
授業科目名	ビジネスマナー I II	担 当 教 官 名	近藤 千明
対象学生	第1学年	履 修 学 期	通 年
必修・選択の別	必修	授業回数	30回(30週)
授業のキーワード	サービス接遇実務検定(3級・2級・準1級)の取得 接客スキル向上と就職活動に向けての選考対策		
授業の概要 及び到達目標	<p>サービス接遇実務においての基礎的な理解と、サービスを行うために必要な知識、技能を習得し、サービス接遇検定試験 3級、2級、準1級合格を目指す。</p> <p>①ホスピタリティーマインドの理解と習得 ②接遇場面における専門用語の理解 ③接遇場面における対人技能と実技の習得</p> <p>仕事をイメージし、求められる言葉遣いや接遇用語は繰り返しトレーニングし習得する。 社会人基礎力の能力向上とコミュニケーションで重要となる対人コミュニケーション能力を磨き、自分自身に自信を持ち行動できる能力形成を図る。</p>		
講義計画・内容	<p>1 3級対策 I サービススタッフの資質 2 3級対策 II 専門知識 3 3級対策 III 一般知識 4 3級対策 IV 対人技能 5 3級対策 V 実務技能 6 3級対策 記述対策 7 3級対策 模擬試験 8 3級試験 総仕上げ 9 2級・準1級対策 10 2級対策 II 専門知識 11 2級対策 III 一般知識 12 2級・準1級対策 13 2級・準1級対策 14 前期試験 15 前期試験解説/夏期休暇課題説明</p>	<p>16 2級対策 理論対策① 17 2級対策 理論対策② 18 2級対策 実技対策① 19 2級対策 実技対策② 20 2級対策 記述対策① 21 2級対策 記述対策② 22 準1級面接試験対策・実技練習① 23 準1級面接試験対策・実技練習② 24 準1級面接試験対策・実技練習③ 25 準1級面接試験対策・実技練習④ 26 マナー講座(訪問、電話) 27 就職対策講座(面接練習)① 28 就職対策講座(面接練習)② 29 就職対策講座(面接練習)③ 30 就職対策講座(ビジネス文書、お礼状、メール)</p>	
準備学習	毎回の授業の課題をしっかりと取り組んでください。 教室でできなかったところは次の授業までに必ず取り組んでおいてください。		
教科書・教材等	サービス業教科書 すらすら合格 サービス接遇検定 準1級・2級・3級 テキスト&問題集(翔泳社)		
授業の形式 教育機器の活用	講義 視聴覚機器使用		
成績評価の方法	定期試験(前期・後期各1回)70%、出席点10% 平常点(発表・授業姿勢、課題提出、小テスト点数、検定試験合格など)20%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>・サービスと接遇に関するお客様対応の心得を学びます。 ・サービス接遇検定合格に向けて楽しめるよう工夫をして授業を進めていきます。 ・検定対策や就職対策に役立つよう、立居振舞・言葉遣いをトレーニングしましょう。 2級に向けた筆記試験、準1級に向けた実技試験に向けて頑張りましょう。</p>		

令和 5年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	アドバイザー対策	担 当 教 官 名	丸本 美佳
対象学生	第1学年	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	30回(15週)
授業のキーワード	個々の想像力、創造性、表現性、構成力を高め、自ら考えて発信する力を向上する。		
授業の概要 及び到達目標	<p>BAの仕事に繋げる為に、まず個々の美意識やセンスの向上、そしてお客様へパーソナルな提案ができるよう、想像力、創造性を養い、提案力向上の為の基礎を身につける。</p> <p>①BAとしての1日の業務の流れを理解する。</p> <p>②自分がブランドの広告塔だ！という意識を高く持ち身だしなみを整える事ができる。</p> <p>③様々なテーマに対し、自分のイメージをメイクや言葉で表現できる。</p> <p>④校外学習を活かし、BAの仕事はコミュニケーション(接客)が大切な事を理解する。 ～実務経験～2005年～2020年までの15年間MACにて勤務。在籍時は、売り場責任者、イベントアーティスト、デジタルプレスアーティストとして様々な業務に携わる。現在はフリーランスでメイクアップアドバイザーとし、メイクレッスンの講師などを務める。</p>		
講義計画・内容	<p>①オリエンテーション(自己紹介・今後の授業の説明など)</p> <p>②MACブランド勉強 (MACとは・タッチアップデモンストレーション・それぞれの思うMACのイメージをセルフメイク)</p> <p>③印象別メイク (マットとツヤ、眉の明暗などでどんな印象の違いがあるのかなどのデモを通してセルフメイク)</p> <p>④イメージメイク(テーマに対してイメージしセルフメイク※デモあり)</p> <p>⑤90秒動画撮影練習</p> <p>⑥90秒動画撮影(自分の好きなメイクアイテムについての動画を作ろう)</p> <p>⑦ブランド別イメージメイク準備(ブランドで分け、それぞれをイメージしたセルフメイク)</p> <p>⑧ブランド別イメージメイク ※実施日</p> <p>⑨中間テスト対策 (くじで引いたテーマに合わせてイメージしたメイクをし、90秒の動画にてポイントを説明する。)</p> <p>⑩中間テスト ※対策と同様</p> <p>⑪校外学習事前準備日(校外学習へ行く意図や、心構えなど。)</p> <p>⑫校外学習</p> <p>⑬校外学習振り返り(それぞれのチームの発表など)</p> <p>⑭後期期末テスト対策(好きなメイクブランドをイメージしたセルフメイクと動画)</p> <p>⑮後期期末テスト ※対策と同様</p> <p>※各週2コマ授業</p>		
準備学習	<p>SNSなどよく見ていると思うので、日ごろからただ見るのではなく、例えば好きなメイクなどがあれば、なぜ自分はこのメイクが好きなのか？お洋服との相性がいいから？メイクのカラーバランス？ヘアスタイルとの相性？など、自分なりに何故かを考える様にしてください。</p>		
教科書・教材等	<p>筆記用具・メイク用品一式・動画撮影の授業時に撮影できるものとイヤホン</p>		
授業の形式 教育機器の活用	<p>演習</p>		
成績評価の方法	<p>テストを中間(50点)、期末(50点)の2回実施し、2回の合計にて成績に反映。 素点70% 平常点20% 出席率10%</p>		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>授業内で疑問に思うこと、わからないことがあれば、そのままにせず、必ず何でも聞いてください！聞くことは恥ずかしいことではありません。皆さんが成長するための大切な貴重な授業なので、自分自身の力になる為に質疑応答は必須です。お互いのコミュニケーションを大切に、目標達成できるように一緒に頑張りましょう。まずは自分自身の美意識、センスの向上、そして、お客様への提案力を磨けるよう、想像力、想像性を養い、考えて表現するスキルを磨く授業にしましょう。</p>		

令和 5 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	ジェルネイル I・特別講義 I	担 当 教 官 名	柏原 沙織
対 象 学 生	第1学年	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	60回(15週)
授業のキーワード	ジェルネイルの基礎知識と技術の取得・JNAジェル技能検定試験(初級・中級)・ジェルアート		
授業の概要 及び到達目標	<p>ジェルネイルを施術するために必要な知識・技術を習得することは必須です。本実習では下記に示す内容を到達目標に進める。</p> <p>①ジェルネイルの専門的知識・技術と多様なデザインを習得できる。</p> <p>②JNAジェル技能検定試験 初級 が合格できる。</p> <p>実務経験:平成18～                      ネイリストとしてサロン業務を行う 平成24年～                      NPO法人 日本ネイリスト協会 認定講師</p>		
講義計画・内容	<p>1:ジェルネイル材料の基礎理論・教材説明・ジェルカラーリング</p> <p>2:ジェルネイル材料に含まれている主要成分・ジェルアート・ジェルオフ</p> <p>3:ジェルネイル光と重合の基礎知識・JNAジェル検定 初級</p> <p>4:JNAジェル検定 初級</p> <p>5:JNAジェル検定 初級</p> <p>6:JNAジェル検定 初級</p> <p>7:JNAジェル検定 初級試験</p> <p>8:ジェルアート(フレンチ)</p> <p>9:ジェルアート(グラデーション)</p> <p>10:ジェルイクステンション</p> <p>11:ジェルネイルの安全な施術とトラブル防止・JNAジェル検定中級練習</p> <p>12:JNAジェル検定 中級手順</p> <p>13:ジェルアート</p> <p>14:定期試験</p> <p>15:定期試験振り返り</p>		
準備学習	<p>演習・プリント等の課題を必ず提出すること。</p> <p>苦手箇所、ジェル検定試験前には、自主練習を行うこと。</p>		
教科書・教材等	JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～		
授業の形式 教育機器の活用	講義演習		
成績評価の方法	定期試験素点70%・平常点20%・出席率10%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>ジェルネイルの専門的な知識・技術について学びます。身だしなみ・マナー・用具の衛生管理等を習得した後、JNAジェルネイル技能検定試験合格を目指します。また、サロンワークで使用する技術や多様な人気のデザインも学びますので意欲的に実習に取り組んで下さい。</p>		

令和 5年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	ネイル演習Ⅰ、特別講義Ⅱ	担 当 教 官 名	和田 可奈子
対 象 学 生	第1学年	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	45回(15週)
授業のキーワード	サロンワーク・作品制作		
授業の概要 及び到達目標	<p>ネイリストに必要な技術・コミュニケーション力・想像力を養います。下記の内容を到達目標に進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品制作が出来るようになる</li> <li>・サロンワークの基礎が出来るようになる</li> </ul>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. サロンワーク①</li> <li>2. サロンワーク②</li> <li>3. サロンワーク③</li> <li>4. サロンワーク④</li> <li>5. サロンワーク⑤</li> <li>6. サロンワーク⑥</li> <li>7. サロンワーク⑦</li> <li>8. 作品制作①</li> <li>9. 作品制作②</li> <li>10. 作品制作③</li> <li>11. 作品制作④</li> <li>12. 作品制作⑤</li> <li>13. フットケア理論検定</li> <li>14. 課外学習</li> <li>15. 特別講義</li> </ol>		
準備学習	学習した内容はよく見直し、復習しておくこと。課題等の提出期限は必ず守ること。		
教科書・教材等	JNAテクニカルシステム ジェルネイル		
授業の形式 教育機器の活用	講義・演習		
成績評価の方法	小テスト素点70%、平常点20%、出席率10%		
担当教官から (履修に当たっての留意 点)	1年生後期は、前期で学んだ基本的な技術のステップアップとして、マシンワークや作品制作をします。また、ネイリストに必要なサロンワークの基礎を学びます。技術面だけではなく、コミュニケーション力・チームワーク力・独自性・表現力等を総合的に育みます。これから美容業のプロになるという姿をイメージして、意欲的に授業に取り組んでください。		

令和 5 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	フェイシャルエステ トータルエステ	担 当 教 官 名	山口 彩
対象学生	第1学年	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	45回(15週)
授業のキーワード	フェイシャルエステトリートメント(機器・マッサージ)、おもてなしの心		
授業の概要 及び到達目標	<p>身体の生理機能を踏まえ、各トリートメントの目的・効果を十分理解して、マッサージ、機器によるトリートメントを正しく安全に行えるようになる。</p> <p>《 実務経験 》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トータルエステティックサロン勤務約5年</li> <li>・美容専門学校にて講師約11年</li> </ul>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.オリエンテーション/ベツメイキング～クレンジングの復習</li> <li>2.クレンジング通し、拭き取り</li> <li>3.ディープクレンジング(スクラブ粒子あり)</li> <li>4.ディープクレンジング(吸引・スチーマー)</li> <li>5.クレンジング～マッサージ</li> <li>6.ディープクレンジング(スクラブ粒子なし)</li> <li>7.マッサージ基本手技、クリームパック</li> <li>8.ディープクレンジング(酵素)</li> <li>9.マッサージ基本手技、クリームパック</li> <li>10.マッサージ基本手技</li> <li>11.ディープクレンジング(ブラシクレンジング)</li> <li>12. マッサージ(デコルテ)</li> <li>13.マッサージ復習</li> <li>14.トリートメント通し</li> <li>15.総復習</li> </ol>		
準備学習	身体の生理機能、各トリートメントの禁忌事項・注意事項を理解した上で、正しく安全で効果的なトリートメントへ繋げること。		
教科書・教材等	新エステティック学 技術編1		
授業の形式 教育機器の活用	実習		
成績評価の方法	試験 70% / 平常点 20% / 出席点 10%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	お客様に対して満足頂けるトリートメントが提供できるようになるために、まず基礎的な理論、技術を正確に理解することが大切です。さらに、技術の習得と共に、接客マナーやおもてなしの心も身につけて行きましょう。		

令和 5年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	販売演習、カウンセリング I	担 当 教 官 名	中西 香織
対 象 学 生	第1学年	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	30回(15週)
授業のキーワード	BAの心得 ブランド研究		
授業の概要 及び到達目標	<p>BAとはどのような職業かを考え、その為に必要な要素を身につけることを目標に授業を行う</p> <p>①BAとしての心得や接客マナーを身につけることができる。</p> <p>②各ブランドの特徴や歴史を学び、ブランドイメージに合ったメイクができる。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.オリエンテーション BAとは BAの心得</li> <li>2.ブランド研究(CHANEL) ブランドイメージメイク</li> <li>3.ブランド研究(IPSA) ブランドイメージメイク</li> <li>4.ブランド研究(DIOR) ブランドイメージメイク</li> <li>5.ブランド研究(ALBION) ブランドイメージメイク</li> <li>6.ブランド研究(YSL) ブランドイメージメイク</li> <li>7.ブランド研究(ポール&amp;ジョー) ブランドイメージメイク</li> <li>8.ブランド研究(ロレアルグループ) ブランドイメージメイク</li> <li>9.ブランド研究(資生堂) ブランドイメージメイク</li> <li>10.ブランド研究(ローラメルシエ・NARS) ブランドイメージメイク</li> <li>11.ブランド研究(コスメデコルテ) ブランドイメージメイク</li> <li>12.ブランド研究(GIVENCHY) ブランドイメージメイク</li> <li>13.ブランド研究(ピアスグループ・エキップ) ブランドイメージメイク</li> <li>14.ブランド研究(トムフォード) ブランドイメージメイク</li> <li>15.ブランド研究まとめ テスト</li> </ol>		
準備学習	志望ブランドの製品や特徴を調べておく事		
教科書・教材等	筆記用具 メイク道具一式 SPIの学習ができるもの A4サイズのポケットファイル		
授業の形式 教育機器の活用	演習		
成績評価の方法	素点70% 平常点20% 出席率10%		
担当教官から (履修に当たっての留意 点)	BAとしての必要な知識を学び、様々なブランドの特徴を理解する事でBA職への就職活動に役立ちます！沢山の商品やブランドと一緒に勉強していきましょう。		

令和 5 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	ジェルネイルⅢ・特別講義Ⅱ	担 当 教 官 名	柏原 沙織
対 象 学 生	第2学年	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	45回(15週)
授業のキーワード	ジェルネイル・JNAジェルネイル技能検定試験(中級・上級)・ジェルアート		
授業の概要 及び到達目標	<p>ジェルネイルを施術するために必要な知識・技術を習得することは必須です。本実習では下記に示す内容を到達目標に進める。</p> <p>①ジェルネイルの専門的知識・技術と多様なデザインを習得できる。</p> <p>③JNAジェル技能検定試験 上級合格を目指す。</p>		
講義計画・内容	<p>1:ジェル上級・フラワー                  2:ジェル上級・復習                  3:ジェル上級・手順                  4:ジェル上級・タイムトライアル                  5:ジェルアート①                  6:ジェルアート②                  7:JNAジェル検定 上級試験 対策①                  8:JNAジェル検定 上級試験 対策②                  9:JNAジェル検定 上級試験 対策③                  10:JNAジェル検定 上級試験試験                  11:ジェルアート①                  12:ジェルアート②                  13:定期試験準備                  14:定期試験                  15:定期試験振り返り</p>		
準備学習	<p>演習・プリント等の課題を必ず提出すること。                  苦手箇所、ジェル検定試験前には、自主練習を行うこと。</p>		
教科書・教材等	JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～		
授業の形式 教育機器の活用	講義演習		
成績評価の方法	定期試験素点70%・平常点20%・出席率10%		
担当教官から (履修に当たっての留意 点)	<p>ジェルネイルの専門的な知識・技術について学びます。身だしなみ・マナー・用具の衛生管理等を習得した後、JNAジェルネイル技能検定試験合格を目指します。また、サロンワークで使用する技術や多様な人気のデザインも学びますので意欲的に実習に取り組んで下さい。</p>		

令和 5 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	フェイシャルエステⅢ トータルエステⅢ	担 当 教 官 名	酒巻 裕美
対 象 学 生	第2学年	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	45回(15週)
授業のキーワード	ボディトリートメント/卒業試験対策		
授業の概要 及び到達目標	<p>・身体の生理機能、化粧品、機器に基づいて肌の状態にあったトリートメントを見極めと目的に沿った結果出し、的確なアフターケアアドバイスの提供を習得する。</p> <p>※実務経験 エステティックサロンにてトータル美容実務6年 エステティックスクールにて講師16年</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 卒業試験説明・オリジナル手技チェック(半身)</li> <li>2. コンサルテーションシート説明・実習</li> <li>3. オリジナル手技チェック(全身)</li> <li>4. 機器手順・口頭試問チェック</li> <li>5. 通し練習</li> <li>6. 通し練習</li> <li>7. 通し練習</li> <li>8. 通し練習</li> <li>9. 通し練習</li> <li>10. 模擬試験(B)</li> <li>11. 総復習</li> <li>12. 応用施術1</li> <li>13. 応用施術2</li> <li>14. 応用施術3</li> <li>15. 応用施術4</li> </ol>		
準備学習	身体機能、化粧品、機器に対する知識を理解した上で肌にあったトリートメントの見極めを行えるようにする事。		
教科書・教材等	新エステティック学 技術編 I		
授業の形式 教育機器の活用	実習		
成績評価の方法	試験 70% / 平常点 20% / 出席点 10%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	お客様の環境等をしっかり確認した上でトラブルの原因の追求を行い、健康的な身体づくりを目標に取り組んでください。		

令和 5 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	トータルエステⅢ	担 当 教 官 名	酒巻 裕美
対 象 学 生	第2学年	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	45回(15週)
授業のキーワード	ボディリートメント/卒業試験対策		
授業の概要 及び到達目標	<p>・身体の生理機能、化粧品役割に基づいて肌の状態にあったトリートメントを見極めと目的に沿った結果出し、的確なアフターケアアドバイスの提供を習得する。</p> <p>※実務経験 エステティックサロンにてトータル美容実務6年 エステティックスクールにて講師16年</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 卒業試験説明・オリジナル手技チェック(半身)</li> <li>2. コンサルテーションシート説明・実習</li> <li>3. オリジナル手技チェック(全身)</li> <li>4. 機器手順・口頭試問チェック</li> <li>5. 通し練習</li> <li>6. 通し練習</li> <li>7. 通し練習</li> <li>8. 通し練習</li> <li>9. 通し練習</li> <li>10. 模擬試験(B)</li> <li>11. 総復習</li> <li>12. 応用施術1</li> <li>13. 応用施術2</li> <li>14. 応用施術3</li> <li>15. 応用施術4</li> </ol>		
準備学習	身体機能、化粧品、機器に対する知識を理解した上で肌にあったトリートメントの見極めを行えるようにする事。		
教科書・教材等	新エステティック学 技術編 I		
授業の形式 教育機器の活用	実習		
成績評価の方法	試験 70% / 平常点 20% / 出席点 10%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	お客様の環境等をしっかり確認した上でトラブルの原因の追求を行い、健康的な身体づくりを目標に取り組んでください。		

令和 5 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	フェイシャルエステⅡ	担 当 教 官 名	酒巻 裕美
対 象 学 生	第2学年	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	60回(15週)
授業のキーワード	フェイシャルトリートメント/メイクアップ/卒業試験対策		
授業の概要 及び到達目標	<p>・皮膚や生理機能、化粧品役割に基づいて肌の状態にあったトリートメントを見極めと目的に沿った結果出し、的確なアフターケアアドバイスの提供を習得する。</p> <p>・メイクアップ化粧品の長所を理解し、心理的影響をもたらす技術を習得する。</p> <p>※実務経験 エステティックサロンにてトータル美容実務6年 エステティックスクールにて講師16年</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 上級筆記対策(8/21・8/25)</li> <li>2. 実技理論(口頭試問確認F・B・M)/オリジナル手技チェック</li> <li>3. コンサルテーションシート説明・実習</li> <li>4. 学内コンテスト リハ</li> <li>5. 学内コンテスト</li> <li>6. メイク実習</li> <li>7. フェイシャル・メイク通し練習</li> <li>8. フェイシャル・メイク通し練習</li> <li>9. フェイシャル・メイク通し練習</li> <li>10. 模擬試験</li> <li>11. 総復習/卒業試験前日準備</li> <li>12. 総復習/大掃除</li> <li>13. 応用施術</li> <li>14. 1. 2年合同授業</li> <li>15. We are リハ</li> </ol>		
準備学習	皮膚機能、化粧品、機器に対する知識を理解した上で肌にあったトリートメントの見極めを行えるようにする事。		
教科書・教材等	新エステティック学 技術編Ⅰ		
授業の形式 教育機器の活用	実習		
成績評価の方法	試験 70% / 平常点 20% / 出席点 10%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	お客様の環境等をしっかり確認した上でトラブルの原因の追求を行い、健康的な美肌づくりを目標に取り組んでください。		

令和 5 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	ネイル検定対策Ⅲ	担 当 教 官 名	清水 昌江
対 象 学 生	第2学年	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	45回(15週)
授業のキーワード	アクリルネイル JNEC1級 アクリルネイルアート		
授業の概要 及び到達目標	<p>イクステンション技術の習得は、ネイル業界において必要な内容であり、下記到達目標に向けて講義を進める。</p> <p>①爪の解剖生理学から、爪と関わる人体組織機能を理解する                  ②イクステンションネイル用品の役割を理解し、説明できる                  ③JNEC1級合格を目指す</p> <p>1997年、サロンワークにつく。1999年から、メーカーに所属し、インストラクターとして商品の開発販売にも携わる。知識技術講習では、初心者からプロネイリストまでを対象としている。</p>		
授業の概要 及び到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. JNEC試験対策①</li> <li>2. JNEC試験対策②                      サロンワーク①</li> <li>3. JNEC試験対策③</li> <li>4. JNEC試験対策④                      コンテスト対策①</li> <li>5. JNEC試験対策⑤                      コンテスト対策②</li> <li>6. 学内コンテスト</li> <li>7. 模擬試験</li> <li>8. JNEC試験対策⑥</li> <li>9. トレンドネイル① サロンワーク②</li> <li>10. トレンドネイル② サロンワーク③</li> <li>11. トレンドネイル③ サロンワーク④</li> <li>12. トレンドネイル④</li> <li>13. 期末試験対策</li> <li>14. 期末試験</li> <li>15. 期末試験フィードバック</li> </ol>		
準備学習	使用するネイル用品を使い方や役割を理解しておく。定期的に小テストを行う。技術につながる内容は、受講にあたって順に習得が必要なため復習を怠らない。資格習得に必要な技術においては特に繰り返し練習をする。		
教科書・教材等	JNAテクニカルシステムBasic・Advance		
授業の形式 教育機器の活用	講義演習、AV機器、ネイル技術用品及び材料		
成績評価の方法	素点(テスト点)70%、平常点20%、出席率10%		
担当教官から (履修に当たっての留意 点)	アクリルネイルは、ネイルイクステンション技術の基礎に当たります。JNEC1級試験対策以外に、美容分野で役立つ様々な知識も紹介します。アクリルネイル技術の医学分野での功績や、舞台芸術や映画特撮分野でのネイルイクステンションの世界にも触れていきたいと考えています。毎回の復習が必須の内容になっています。		

令和 5 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	化粧品検定対策	担 当 教 官 名	伊藤真央
対 象 学 生	第二学年	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	15回(8週)
授業のキーワード	皮膚・化粧品・健康		
授業の概要 及び到達目標	化粧品検定2級合格に向けて、皮膚の構造・肌悩みに対する化粧品の選び方・メイクアイテムの使用法・美肌に導く美容知識を習得する。 美容のプロとして必要な化粧品の正しい知識を身に付け、お客様にお伝えできるようになる。		
講義計画・内容	1回目:間違いがちな美容知識をチェック(3級範囲) 2回目:皮膚の構造・皮膚のしくみと働き 3回目:肌タイプと見分け方・肌悩みの原因とお手入れ 4回目:肌を劣化させるさまざまな要因・紫外線が肌に与える影響 5回目:効果的なマッサージの必要性と方法・美しい肌をつくる生活習慣 6回目:メイクアップの基本テクニック・肌悩みに応じた化粧品の使い方 7回目:試験対策・確認テスト 8回目:検定試験		
準備学習	自分の苦手なこと、理解していないことを整理して明確にしておく。 苦手な点、理解できていない点、1年生から2年生前期で指摘されている点をしっかり把握し、就職までにどんな勉強・練習が必要か自分自身で考えてみる。		
教科書・教材等	日本化粧品検定2級・3級対策テキスト		
授業の形式 教育機器の活用	講義		
成績評価の方法	定期試験70%・平常点20%・出席点10%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	化粧品検定2級の内容は美容の仕事をする上で基本となってくる知識です。 化粧品の中身や働きを理解し、目的に合った使い方ができることを目指します。 現場で活かせる知識ばかりですので、しっかりと知識を定着させ卒業後も役立ててください。		

令和 5年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	エステ、ネイル、BA、ヘアメイク	授業科目区分(基専)	基礎分野
授業科目名	外国語講座(韓国語)	担 当 教 官 名	金 世 鎮
対 象 学 生	第2学年	履 修 学 期	後 期
必修・選択の別	必修	授業回数	7回(7週)
授業のキーワード	韓国の現在・歴史の文化につながるハングル学習、韓国生活や韓国の人気アイテムなどを紹介		
授業の概要 及び到達目標	<p>K-popや韓国ドラマを通じて全世界的に韓国文化に対する関心が高まっている。このため自然に日本でも韓国語に対する関心も高まるようになった。その韓国の文化をもっと楽しめるように韓国語を学んで行きたいと思う。</p> <p>短期時間で韓国語をマスターすることは難しいが、教養的側面から韓国に対する理解を持ち、韓国語を習得できるようにすることを目指す。さらに、韓国の文化で活用している韓国語を習得できるようにする。</p> <p>1) 韓国文化を理解できるようにする。 2) 基礎的な韓国語が聞こえる(分かる)ようにする。 3) ハングルの自習で勉強できるようにする。</p>		
講義計画・内容	<p>① 「アンニョンハセヨ」韓国の挨拶、韓国の文化について(「ハングル」自習のガイド)</p> <p>② 「韓国！何でやねん〜」；日本と韓国の違う文化、韓国の文化を理解しよう。</p> <p>③ 「韓国に行ったら？」；絶対失敗ない韓国旅行のための韓国語と情報</p> <p>④ 「なんでキムチ？ブルゴギ？」；韓国料理についてのお話。</p> <p>⑤ 「韓ドラあるある」；韓ドラで学ぶ韓国語。</p> <p>⑥ 「ITで韓国語」；最新のITテクノロジーで韓国語を使い、学生の質問に答え、まとめ(期末テストの案内)</p> <p>⑦ 期末テスト</p>		
準備学習	<p>毎回(6回)の点数があるアンケートがあります。</p> <p>授業中のミニクイズに答えることでの点数もあります。</p>		
教科書・教材等	配布資料&パワーポイント		
授業の形式 教育機器の活用	講義プロジェクターの利用		
成績評価の方法	定期試験素点70% 平常点(課題提出率、授業態度等)20% 出席率10%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>日本と韓国は近いが遠い隣国という言葉があります。似たように見えても違うところがあります。これまでの日韓関係の様々な問題点があっても、お互いに理解し、親しくなったら深い話もできるでしょう。</p> <p>「言葉が通じるであれば友達になる」ように、言語を学びながら文化と隣国を理解し、お互いに学ぶことがあれば学んで、共に発展して行くことを望んでいます。</p> <p>そのような心で楽しく学んでください。</p>		

令和 5 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	卒業制作	担 当 教 官 名	宮里里苗
対 象 学 生	第2学年	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	30回(15週)
授業のキーワード	イメージメイク 作品制作 撮影 We are 卒業制作		
授業の概要 及び到達目標	<p>2年間の集大成として京都医健の卒業制作発表の場「We are」に作品を発表する。グループごとにテーマを決めて研究に取り組む。またその内容をプレゼンテーションとしてまとめ、業界のプロフェッショナルな方々からフィードバックをいただき更にブラッシュアップさせ、「We are」の本番で披露する。</p> <p>①研究に取り組むことにより、リサーチ力やマーケティング力、プレゼンテーション力を養うことができる。</p> <p>②プロのアドバイスを受けることで現場の目線やプロとしての目線を知ることができる。</p> <p>③コース一丸となって「We are」を作り上げることにより、チームワークを身につけることができる。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.ガイダンス 卒業制作進捗の確認</li> <li>2.卒業制作準備 業者打合せ</li> <li>3.卒業制作準備 業者打合せ</li> <li>4.卒業制作準備 業者打合せ</li> <li>5.卒業制作準備 中間発表① 動画準備</li> <li>6.プレゼンテーション中間発表② 業界の方々からフィードバック</li> <li>7.プレゼンテーション ブラッシュアップ</li> <li>8.プレゼンテーション 通し練習① 動画・BGM準備</li> <li>9.プレゼンテーション 通し練習② 技術者、モデル動作確認</li> <li>10.プレゼンテーション 通し練習③ 場当たり</li> <li>11.プレゼンテーション中間発表③ 業界の方々からフィードバック</li> <li>12.プレゼンテーション 通し練習⑤ ブラッシュアップ</li> <li>13.プレゼンテーション 通し練習⑥ 照明決定</li> <li>14.リハーサル 場当たり</li> <li>15.リハーサル 場当たり</li> </ol>		
準備学習	<p>使用する化粧品や道具に関しては特殊な扱いの物があるため使用方法を理解し復習しておく。イメージの元になる資料集めを行っておく。またこの資料は定期的に発表する機会を設ける。作品制作に必要な小物の準備を行う。</p>		
教科書・教材等	JMA公式テキスト1級・メイク道具一式		
授業の形式 教育機器の活用	講義及びメイク実習 スライド機材利用 一眼レフカメラ機材利用 撮影スタジオ機材一式利用		
成績評価の方法	定期試験素点70% 平常点(課題提出率、授業態度等)20% 出席率10%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>本講義では、今まで学習したことや、これから新たに学ぶことをアウトプットすることが求められます。聞く人に訴えかけるプレゼンテーションができる事や、メイクだけにとどまらず衣装や背景に至るまでコーディネートできる幅広い知識と技術を身につけ、見る人に訴えかける作品を作り上げることを目指します。メイク業界といっても職種はさまざまですが顔だけでなく様々な角度から美を提供することができる一流の美容家・アーティストを目指して一緒にがんばりましょう！</p>		

令和 5年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	コンテスト対策60、特別講義Ⅱ30	担 当 教 官 名	中西 香織
対象学生	第2学年	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授 業 回 数	45回
授業のキーワード	カウンセリングテクニック、スキンケア、メイク、ロープレ、コンテスト対策		
授業の概要 及び到達目標	<p>BAとしての心得や接客マナーをもう一度見つめなおし、就職後の即戦力として活躍できる必要な知識、技術、カウンセリング力を高めることを目標に授業を行う。</p> <p>①メイク技術・スキンケア知識に加えてフレグランスの知識も習得し、トータルアドバイスが出来る</p> <p>②お客様のご要望に合わせた商品のご提案が出来る</p> <p>③ロープレを実施しトーク力を高め就職後の即戦力として活躍できる</p> <p>④コンテスト対策として、だれもが魅了する仕上りを作り上げることが出来る</p>		
講義計画・内容	<p>①コンテスト対策(メイク総仕上げ)</p> <p>②コンテスト対策(トーク練習)</p> <p>③コンテスト対策(最終確認)</p> <p>④コンテスト</p> <p>⑤コンテストの振り返り</p> <p>⑥フレグランスについて(纏い方や香調など)</p> <p>⑦季節に合わせたスキンケア～メイク</p> <p>⑧年齢に合わせたスキンケア～メイク</p> <p>⑨スキンケア知識の復習(紫外線、シミ)</p> <p>⑩スキンケア知識の復習(エイジング)</p> <p>⑪スキンケア知識の復習(ニキビ、毛穴)</p> <p>⑫スキンケアまとめ(皮膚構造～肌タイプ別アドバイス)</p> <p>⑬BAの基礎知識</p> <p>⑭テスト対策</p> <p>⑮テスト</p>		
準備学習	前期の復習(ブランドメイク、スキンケア)をしておく事		
教科書・教材等	筆記用具、メイク道具一式		
授業の形式 教育機器の活用	演習		
成績評価の方法	歯点70% 平常点20% 出席率10%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	前半はコンテストに向けてメイク技術の向上とトーク練習頑張りましょう！後半は即戦力になれるように接客の一連の流れをより実践的に学びます！		

令和 5年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	ネイル演習Ⅲ・卒業制作	担 当 教 官 名	和田 可奈子
対 象 学 生	第2学年	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	60回(15週)
授業のキーワード	卒業制作(we are・JESC)		
授業の概要 及び到達目標	<p>在学中に学んだ事を発揮する場として、we are・JESCに取り組む。 様々な技法・チームワーク力・独自性を表現し、作品制作やプレゼンテーションが出来る。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. we are対策 / サロンワーク①</li> <li>2. we are対策 / サロンワーク②</li> <li>3. we are対策 / サロンワーク③</li> <li>4. we are対策 / サロンワーク④</li> <li>5. we are対策 / JNEC検定対策</li> <li>6. we are対策</li> <li>7. we are対策</li> <li>8. we are中間発表</li> <li>9. we are対策 / ジェル検定対策</li> <li>10. we are対策</li> <li>11. we are対策</li> <li>12. we are対策</li> <li>13. we are対策</li> <li>14. we are対策</li> <li>15. we areコースリハーサル</li> <li>16. we are全体リハーサル ①</li> <li>17. we are全体リハーサル ②</li> <li>18. we are全体リハーサル ③</li> <li>19. we are本番</li> </ol>		
準備学習	<p>共同制作の打ち合わせや、習得済みの技法を使用した作品制作等は授業外でも進めておくこと。また、学習した内容は見直しよく復習しておくこと。</p>		
教科書・教材等	JNAテクニカルシステム アドバンス		
授業の形式 教育機器の活用	講義・演習		
成績評価の方法	定期試験70% 平常点20% 出席率10%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>2年生後期は、在学中に学んだ技術の総まとめとし、we are・JESC(卒業制作)に取り組めます。技術面だけではなく、就職してから必要なチームワーク力・独自性・表現力・プレゼンテーション力を育みます。これから美容業のプロになるという姿をイメージして、意欲的に授業に取り組んでください。</p>		

令和 5年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	アドバイザー対策	担 当 教 官 名	丸本 美佳
対 象 学 生	第二学年	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	30回(15週)
授業のキーワード	BAとしての接客スキル、モチベーション、プロ意識を向上させる。 店頭で即戦力となれるお客様対応スキルの習得。		
授業の概要 及び到達目標	<p>BAの仕事についての知識を高め、お客様に寄り添った接客や意識を高める。 想像力、創造性を養い、提案力を向上させる。</p> <p>①BAとしての1日の業務の流れ、接客の流れを理解する。 ②想像することを学びよりパーソナルな提案ができる。 ③BAとして自分がブランドの広告塔だ！という意識を高く持つことが出来る。 ④トークの引き出しをふやし、即戦力となれるワード力を向上させる。</p> <p>～実務経験～2005年～2020年までの15年間MACにて勤務。在籍時は、売り場責任者、イベントアーティスト、デジタルプレスアーティストとして様々な業務に携わる。現在はフリーランスでメイクアップアドバイザーとし、メイクレッスンの講師などを務める。</p>		
講義計画・内容	<p>①後期のテーマ、イメージメイク（テーマに合わせてイメージ） ②イメージメイク（ファッションに合わせたメイクの提案） ③接客実習（オープニングからクローズまで・ロープレ）動画撮影 ④イメージメイク（お客様がなりたいメイクへの提案メイク） ⑤イメージメイク①（テーマに沿ってセルフメイク、プレゼン会）※説明、準備日 ⑥イメージメイク②（テーマに沿ってセルフメイク、プレゼン会） ⑦中間テスト（お客様がなりたいメイクへの提案メイク）※筆記あり ⑧接客実習（オープニングからクローズまで・ロープレ）動画撮影 ⑨メイク動画制作①（動画撮影、編集なども含めた簡単なメイク動画を作る） ⑩メイク動画制作②（動画撮影、編集なども含めた簡単なメイク動画を作る） ⑪イメージメイク（テーマ別メイク） ⑫イメージメイク（お客様がなりたいメイクへの提案メイク） ⑬期末テスト対策（オープニングからクローズまで・ロープレ※モデルテーマあり） ⑭期末テスト ※ 動画撮影 ⑮期末テストフィードバック等 ※各週2コマ授業</p>		
準備学習	<p>コスメの接客を受ける機会があれば、印象的だったことや、自分も真似したいと思えることをみつけるように意識して接客内容をよく聞いてください。 SNSなどただ見るのではなく、なぜ自分はこのメイクが好きなのか？お洋服との相性？メイクのカラーバランス？など、自分なりに何故かを考える様にしてください。</p>		
教科書・教材等	筆記用具・メイク用品一式・動画撮影の授業時に撮影できるものとイヤホン		
授業の形式 教育機器の活用	演習		
成績評価の方法	<p>テストを中間(50点)、期末(50点)の2回実施し、2回の合計にて成績に反映。 素点70% 平常点20% 出席率10%</p>		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>授業内で疑問に思うこと、わからないことがあれば、そのままにせず、必ず何でも聞いてください！聞くことは恥ずかしいことはありません。皆さんが成長するための大切な貴重な授業なので、自分自身の力になる為に質疑応答は必須です。前期以上によりパーソナルなご提案上手になれるように、後期は個々の提案力向上のため、イメージする力を養いましょう！！</p>		

令和 5 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	卒業制作・特別講義Ⅱ・トータル美容Ⅱ	担 当 教 官 名	小形 志佳/伊藤 真央
対 象 学 生	第2学年	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	120回(18週)
授業のキーワード	WE ARE 卒業制作 上級実技試験 ライト脱毛		
授業の概要 及び到達目標	WE ARE(卒業制作発表会)に向けて、今まで習得したエステティシャンとしての知識・技術で企業課題に取り組む。コース一丸となってチームワークを身につける。		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.上級筆記試験対策</li> <li>2.卒業制作(内容、スケジュール決め)</li> <li>3.フレッシュャーズ研修</li> <li>4.卒業制作</li> <li>5.卒業制作</li> <li>6.卒業制作</li> <li>7.卒業制作</li> <li>8.中間発表(小テスト)</li> <li>9.卒業制作/上級試験対策</li> <li>10.卒業・上級実技試験</li> <li>11.ライト脱毛</li> <li>12.卒業制作</li> <li>13.卒業制作</li> <li>14.卒業制作</li> <li>15.リハーサル①</li> <li>16.リハーサル②</li> <li>17.リハーサル③</li> <li>18.WeAre本番</li> </ol>		
準備学習	自分の2年間の集大成をどの様に表現するか考えておくこと。		
教科書・教材等			
授業の形式 教育機器の活用	実習 エステティック機器		
成績評価の方法	定期試験70% 平常点20% 出席率10%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	WE ARE 当日に悔いが残らないよう、2年間学んできたことを最大限発揮してください。最後までチームワークを心がけて取り組んでください。		

令和 5 年度京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	ボディエステ I	担 当 教 官 名	小形 志佳
対 象 学 生	第1学年	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	45コマ(11週)
授業のキーワード	ボディトリートメント(機器・マッサージ)		
授業の概要 及び到達目標	<p>身体の生理機能を踏まえ、各トリートメントの目的・効果を十分理解して、マッサージ、機器によるトリートメントを正しく安全に行えるように習得する。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション/ご案内/前操作/ボディマッサージ技術理論(小テスト)</li> <li>2. M下肢後面①</li> <li>3. M下肢後面②(小テスト)</li> <li>4. M腰背部①</li> <li>5. M腰背部②(小テスト)</li> <li>6. M背面通し/G5</li> <li>7. M腹部(小テスト)</li> <li>8. M通し①/低周波</li> <li>9. M通し②(小テスト)</li> <li>10. ラジオ波、キャビテーション、超音波</li> <li>11. 総復習</li> </ol>		
準備学習	<p>身体の生理機能、各トリートメントの禁忌事項・注意事項を理解した上で、正しく安全で効果的なトリートメントへ繋げること。</p>		
教科書・教材等	新エステティック学 技術編 I		
授業の形式 教育機器の活用	実習、G5、低周波、ラジオ波、キャビテーション		
成績評価の方法	試験 70% / 平常点 20% / 出席点 10%		
担当教官から (履修に当たっての留意 点)	<p>基礎的な理論、技術を正確に理解し、お客様に対して満足頂ける結果を提供できるよう、技術を習得するように取り組んでください。</p>		

令和 5 年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	テクニカルメイクⅠ・Ⅱ	担 当 教 官 名	こみ山えい子
対 象 学 生	第1学年	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必須	授業回数	60回(15週)
授業のキーワード	ベースメイク、フルメイク、顔のバランス分析、イメージメイクの構成		
授業の概要 及び到達目標	<p>①シュウウエムラメイクアップ技術検定試験                  ②基本のフルメイクテクニックの習得                  ③日本メイクアップ技術検定1級対策                  【実務経験】                  美容メーカーにて美容アドバイザーとして6年間接客販売を行う。退社後、ブライダル事業部にて6年間ヘアメイク育成、マネージメント業務を行う。現在フリーランスとして10年目。ブライダルヘアメイク、メイクレッスン、パーソナルカラー診断セッション、パーソナルカラリスト養成スクールのメイク講師、社団法人JMA認定講師として美容専門学校のメイク講師、プロのメイクアップアドバイザー育成業務を行う。</p>		
講義計画・内容	<p>①シュウウエムラメイクアップ検定試験について、テーブルセッティング、目的内容記入                  ②スキンケアについて実習                  ③前回までの手技確認、メイクオフベースメイクについて実習                  ④前回までの手技確認、リップ、アイシャドウについて実習                  ⑤前回までの手技確認、アイライン、マスカラ、アイブロウリップについて実習                  ⑥前回までの手技確認、フルメイク                  ⑦フルメイクバランス実習                  ⑧フルメイクバランス実習                  ⑨シュウウエムラメイクアップ技術検定試験/模擬試験                  ⑩シュウウエムラメイクアップ技術検定試験日                  ⑪メイクアップ技術検定1級対策、イメージ操作につて、顔の印象分析                  ⑫メイクアップ技術検定1級対策、イメージメイクの構成、色・形・質感について                  ⑬メイクアップ技術検定1級対策、イメージメイクテクニック                  ⑭メイクアップ技術検定1級対策、イメージメイクテクニック                  ⑮メイクアップ技術検定1級対策、メイクアップの強弱と印象</p>		
準備学習	週に1日の授業の為、手技・手順の復習を毎週徹底するようにして下さい。		
教科書・教材等	シュウウエムラメイクアップ技術検定テキスト、メイク道具一式		
授業の形式 教育機器の活用	演習		
成績評価の方法	試験素点70%・平常点20%・出席率10%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	シュウウエムラメイクアップの手技を中心に、フルメイクについての理論と技術を学ぶ授業です。第2学年のメイク検定1級取得に向けての重要なポイントが含まれていますので聞き逃しのないように向き合い日々練習を重ねて下さい。そしてクラス全員で合格に向けて頑張りましょう。疑問点等が出てきた場合は積極的に声をかけて下さいね。		

令和 5年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	パーソナルカラー	担 当 教 官 名	日本カラーコーディネーター協会大井洋子
対 象 学 生	第1学年	履 修 学 期	後 期
必修・選択の別	必修	授業回数	15回(15週)
授業のキーワード	ヘアメイク・ネイルのパーソナルカラー活用法 パーソナルカラー3級合格		
授業の概要 及び到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パーソナルカラーの基本となる理論(もって生まれた色素と似合う色の関係)を学ぶ</li> <li>・自分ブランディング(自分の色素タイプを客観的に見る)</li> <li>・お客様が持っている色素に基づいてパーソナルカラー(似合う色診断)ができる</li> <li>・色彩活用パーソナルカラー検定3級合格</li> </ul>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>①パーソナルカラーとは何か(似合う色とは、見つけ方)</li> <li>②似合う色の基準Ⅰ ・肌、瞳、髪から色素を導き出す</li> <li>③似合う色の基準Ⅱ ・ドレーピング体験にて色の変化を認識していく</li> <li>④パーソナルカラーの基本 ・三属性・色相環・トーン</li> <li>⑤似合う色の基準Ⅲ ・ドレーピングにてパーソナルカラー4つのグループに振り分ける(YベースBベース・明暗・鮮やか穏やか)</li> <li>⑥色によるイメージのとらえ方Ⅰ トーンの仕組みとイメージ</li> <li>⑦色によるイメージのとらえ方Ⅱ パーソナルカラー4つのグループのイメージ</li> <li>⑧色の名前(慣用色名・系統色名)</li> <li>⑨似合う色のコラージュ作成Ⅰ</li> <li>⑩似合う色のコラージュ作成Ⅱ</li> <li>⑪慣用色名のグループ分け</li> <li>⑫色の対比・反射吸収など光と色の関係</li> <li>⑬似合う色グループへの素材・柄・アクセサリーの色・素材の振り分け</li> <li>⑭定期テスト</li> <li>⑮検定対策</li> </ol>		
準備学習	テキストに目を通しておく・スタイル別配色アイデアブックにてイメージを膨らましておく		
教科書・教材等	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト・問題集・配色アイデアブック・配色カード199・PCCSトーンマップ台紙		
授業の形式 教育機器の活用	講義・実習(グループワーク・デモンストレーション)パーソナルカラー診断ドレープ		
成績評価の方法	定期テスト70%・平常点30%(出席率・提出物)		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	接客業には客観的に見ることは重要です。 パーソナルカラーは客観的に見る力により似合う色を見つける楽しさを知ることができます。 見つける、発見をするための基礎知識を身につけて鑑定試験合格を目指します		

令和 5年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	パーソナルカラー	担 当 教 官 名	日本カラーコーディネーター協会大井洋子
対 象 学 生	第1学年	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	15回(15週)
授業のキーワード	ヘアメイク・ネイルのパーソナルカラー活用法 パーソナルカラー3級合格		
授業の概要 及び到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>* パーソナルカラーの基本となる理論(持って生まれた色素傾向と似合う色の関係を学ぶ)</li> <li>* 自分ブランディング(自分の色素タイプを客観的に見る)</li> <li>* お客様が持っている色素に基づいてパーソナルカラー診断(似合う色味の診断)ができる</li> <li>* 色彩活用パーソナルカラー検定3級合格</li> </ul>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>① パーソナルカラー概要 パーソナルカラーとは何か(似合う色とは?どのように見つける?)</li> <li>② 似合う色の基準Ⅰ 肌・瞳・髪から色素を導き出す【小テスト】</li> <li>③ 似合う色の基準Ⅱ ドレーピング体験にて見え方の変化を認識し客観的に見ることを学ぶ</li> <li>④ パーソナルカラーの基本である三属性・トーンについて【小テスト】</li> <li>⑤ 似合う色の基準Ⅲ ドレーピングデータをパーソナルカラー4つのグループに振り分ける【小テスト】</li> <li>⑥ 色によるイメージの捉え方Ⅰ(トーンの仕組みとイメージ)【小テスト】</li> <li>⑦ 色によるイメージの捉え方Ⅱ(パーソナルカラー4つのグループのイメージ)【小テスト】</li> <li>⑧ 色の名前(慣用色名・系統色名)【小テスト】</li> <li>⑨ イメージカラージュ作成Ⅰ</li> <li>⑩ イメージカラージュ作成Ⅱ</li> <li>⑪ 慣用色名グループ分け【小テスト】</li> <li>⑫ 色の対比現象・反射・吸収【小テスト】</li> <li>⑬ 柄や素材・アクセサリ-の色や質感による似合う色グループへの振り分け【小テスト】</li> <li>⑭ 振り返り【小テスト】</li> <li>⑮ 検定対策</li> </ol>		
準備学習	テキストに目を通しておく。スタイル別アイデアブックにてイメージトレーニング		
教科書・教材等	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト・問題集・配色アイデアブック・配色カード199・PCCストーンマップ台紙		
授業の形式 教育機器の活用	講義・ドレーピング実習・デモンストレーション		
成績評価の方法	テスト70%・平常点20%・出席率10%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	接客業において物事を客観的に見ることは重要です。パーソナルカラーは客観的に見ることで似合う色を見つけます。似合う色を見つける楽しさを知り、今後の生活に活かすことができます。基礎知識を身に付けて検定3級合格目指しましょう。		